

2025年度(令和7年度)

須坂市議会要覧



(須坂市須坂重要伝統的建造物群保存地区の町並み)

須坂市議会事務局

市 章



須坂市の市章は、大正4年11月制定されたもので、
亀の甲を「須坂」の「ス」の文字で表わし、須坂
の歴史と将来への発展を意味しております。

須 坂 市 民 憲 章

(昭和49年11月1日制定)

美しい自然に恵まれ、輝かしい伝統を受けついで
きたわたくしたちは、須坂市のかぎりない平和と
発展を願い、誇りと責任をもって、ここにこの憲
章を定めます。

1. 清潔で美しいまちをつくります。
1. 健康で仕事に励みます。
1. 人間性を尊重し、おたがいに協力します。
1. 教養を深め、郷土の文化を高めます。
1. 明るく心豊かな家庭をきずきます。

目 次

I 議 会

1	議員定数・党派別・会派別議員数等	1
(1)	議員定数	1
(2)	党派別議員数	1
(3)	会派別議員数	1
(4)	年齢別・当選回数別議員数	1
2	議員名簿	2
3	議会構成	3
(1)	議会の構成	3
(2)	常任委員会	3
(3)	議会運営委員会	4
(4)	特別委員会	4
(5)	その他の委員会	4
(6)	他団体委員等	4
4	議会の運営	5
(1)	議会運営に関する主な事項	5
(2)	請願（陳情）の取扱い	6
(3)	タブレット端末・ペーパーレス会議システム	6
(4)	AI音声認識システム・大型モニター	6
5	議会の活動状況	7
(1)	本会議開会及び会期日数	7
(2)	定例会の会期日程	8
(3)	議案の件数と審議結果	13
(4)	新規条例案の審議結果	13
(5)	請願の件数と審議結果	13
(6)	議員提出議案等の審議結果	13
(7)	委員会開催状況	13
6	報酬・期末手当及び視察研修費	14
(1)	議員報酬	14
(2)	議員の期末手当	14
(3)	政務活動費	14
(4)	視察・研修費	14
(5)	市長等の給与	15
(6)	各種委員の報酬	15
7	調査、広報及び情報公開	16
(1)	議会図書室	16
(2)	議会刊行物	16
(3)	インターネット市議会情報	16
(4)	市議会だよりモニター	16
(5)	SNS	16
(6)	テレビ放映	16

(7) 本会議録画映像配信	16
(8) 情報公開	16
8 議会事務局	17
(1) 機構と職員数	17
(2) 市外からの行政視察の受け入れ状況	17
(3) 議会の予算	17
9 意見書、決議等の状況	18
(1) 意見書	18
(2) 決議等	21
10 歴代正副議長及び事務局長	23
(1) 歴代議長	23
(2) 歴代副議長	23
(3) 歴代事務局長	23
II 市 勢	
1 須坂市の位置	24
2 須坂市の沿革	25
(1) 市制施行以降の沿革	25
(2) 須坂市の系図	26
3 面積と地勢	27
4 世帯数及び人口の推移	27
III 行 政	
1 財 政	28
(1) 一般・特別・企業会計歳入歳出予算総括表	28
(2) 主要財政数値	28
(3) 一般会計当初予算款別比較表	29
(4) 一般会計性質別歳出予算比較表	31
2 職員、組織構成	32
(1) 須坂市職員定数	32
(2) 市の職員数	32
(3) 職員平均年齢及び平均給料月額等	32
(4) 須坂市組織機構図	33
(5) 須坂市の主な公共施設、関係機関	35
(6) 歴代市三役	36
IV 資 料	
グラフで見る須坂市	37
須坂市の指定文化財一覧表	50
名誉市民	52
都市宣言	54
市の木・市の花、姉妹都市・友好都市	

I 議 会

1 議員定数・党派別・会派別議員数等（2025年4月1日現在）

（1）議員定数

条例定数 20人 現員数 20人（女性1人）

須坂市議会議員定数条例

地方自治法（昭和22年法律第67号）第91条第1項の規定により、須坂市議会の議員の定数を20人とする。

* 平成19年1月1日以後の最初の一般選挙の選挙期日の告示の日から。

（2）党派別議員数

党 派	人 員
無 所 属	17
日本共産党	2
公 明 党	1

（3）会派別議員数（7会派）

会 派	人 員
市 民 共 創 会	3
い い よ ね 須 坂	5
日 本 共 産 党	2
清 風 会	3
輝 奏 会	5
シュプリンゲン	1
公 明 党	1

（4）年齢別・当選回数別議員数

年齢 \ 回数	回数						
	1期	2期	3期	4期	5期	6期	計
70歳～		2	5	2	2	1	12
60歳～69歳	1		1	1	1		4
50歳～59歳	1						1
40歳～49歳	2						2
30歳～39歳	1						1
計	5	2	6	3	3	1	20

平均年齢66歳3か月

2 議員名簿（2025年4月1日現在）

議長 石合 敬
副議長 浅野 隆義

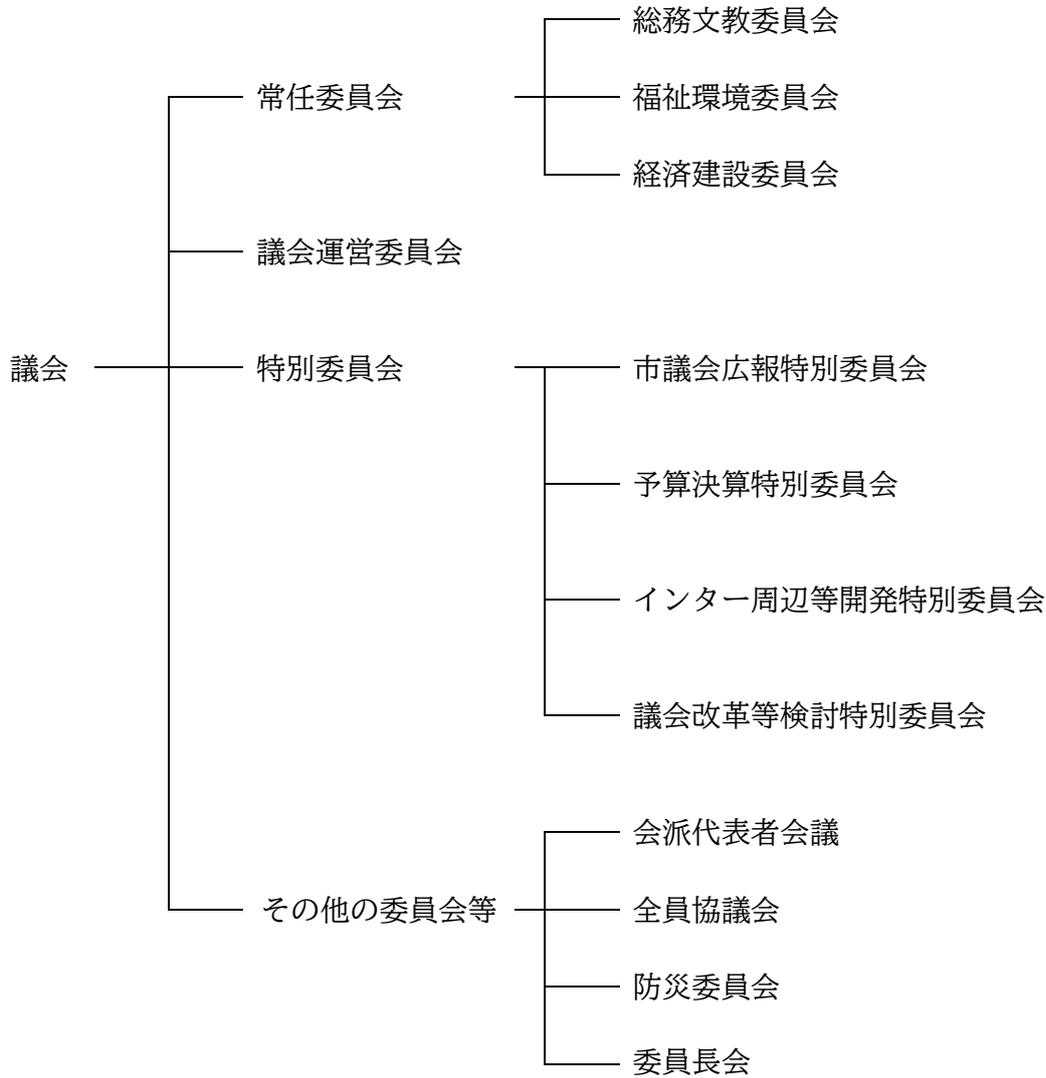
議席番号	氏名	所属委員会	所属会派	所属党派	当選回数
1	山崎 永一	◎福祉環境 議会運営	○いいよね須坂	無所属	1
2	西脇 隆	福祉環境	いいよね須坂	無所属	1
3	早川 航紀	○経済建設 議会運営	いいよね須坂	無所属	1
4	浅野 隆義	総務文教	◎いいよね須坂	無所属	1
5	野崎 天馬	総務文教	いいよね須坂	無所属	1
6	荒井 一彦	総務文教 議会運営	◎清風会	無所属	2
7	牧 重信	経済建設	○清風会	無所属	2
8	久保田克彦	○総務文教	○日本共産党	日本共産党	3
9	宮本 泰也	福祉環境 議会運営	◎市民共創会	無所属	3
10	荒井 敏	総務文教	○市民共創会	無所属	3
11	岡田 宗之	経済建設 ◎議会運営	○輝奏会	無所属	3
12	堀内 章一	経済建設 議会運営	◎○公明党	公明党	3
13	水越 正和	◎総務文教	輝奏会	無所属	3
14	竹内 勉	福祉環境 ○議会運営	◎日本共産党	日本共産党	4
15	酒井 和裕	総務文教	輝奏会	無所属	4
16	浅井 洋子	福祉環境	輝奏会	無所属	4
17	霜田 剛	○福祉環境	清風会	無所属	5
18	中島 義浩	◎経済建設 議会運営	◎輝奏会	無所属	5
19	石合 敬		◎○シュプリンゲン	無所属	5
20	岩田 修二	経済建設	市民共創会	無所属	6

※ 所属委員会欄：◎委員長、○副委員長

※ 所属会派欄：◎代表者、○経理責任者

3 議会構成（2025年4月1日現在）

(1) 議会の構成



(2) 常任委員会（2023.2.13～）

（ ）内は現員数

委員会名	定数	所管事項
総務文教	7人以内(7)	総務部、消防本部、会計課、教育委員会、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会、固定資産評価審査委員会、議会事務局に関すること並びに他の委員会に属さないこと。
福祉環境	6人以内(6)	健康福祉部、福祉事務所、市民環境部、社会共創部に関すること。
経済建設	6人以内(6)	産業振興部、まちづくり推進部、水道局、農業委員会に関すること。

委員の任期 2年

- (3) 議会運営委員会 (2023.2.13～)
- 1) 定数 10人以内 (現員数8)
 - 2) 調査及び審査事項
 - ア 議会の運営に関する事項
 - イ 議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項
 - ウ 議長の諮問に関する事項
 - 3) 委員の任期 2年
 - 4) 委員会の開催時期
議会招集日のおおむね1週間前
- (4) 特別委員会
- 1) 市議会広報特別委員会 (2023.2.13～)
 - 1 定数 8人以内 (現員数7)
 - 2 付託事項
 - (1) 市議会の広報に関すること。
 - (2) 市議会報「こんにちは須坂市議会です」の発行に関すること。
 - (3) その他これらに関連すること。
 - 2) 予算決算特別委員会 (2023.2.13～)
 - 1 定数 19人 (議長を除く全員) (現員数19)
 - 2 付託事項
 - (1) 予算議案の審査
 - (2) 決算認定議案の審査
 - (3) 上記に係る調査研究
 - 3) インター周辺等開発特別委員会 (2023.3.9～)
 - 1 定数 19人 (議長を除く全員) (現員数19)
 - 2 付託事項
 - (1) インター周辺地区における大型商業施設計画について
 - (2) 大型商業施設の中心市街地への影響及び市街地活性化について
 - (3) インター須坂流通産業団地の拡張について
 - (4) その他インター周辺の開発計画について
 - 4) 議会改革等検討特別委員会 (2025.2.12～)
 - 1 定数 10人以内 (現員数7)
 - 2 付託事項
 - (1) 議会改革、議会活性化の推進に必要な施策について
 - (2) 市議会に対する市民の関心を高める方策について
 - (3) その他議会改革等に係る諸課題等について
- (5) その他の委員会
- 1) 防災委員会 (S56.9.1～)
 - 1 定数 20人 (全議員) (現員数20)
 - 2 設置の目的 須坂市地域に係る災害に備え、防災に協力援助するため。
- (6) 他団体委員等

名 称	選出人数	選出方法
監査委員	1	同意
長野広域連合議会議員	3	選挙
須高行政事務組合議会議員	6	//
高山村外一市一町財産組合議会議員	3	//
須坂市民生委員推薦会委員	2	—
須坂市都市計画審議会委員	5	—
須高広域消防運営協議会委員	2	—

4 議会の運営

(1) 議会運営に関する主な事項

1) 本会議の会議時間

会議時間は、午前9時30分から午後5時までとする。

2) 議案の送付

定例会における議案の送付は、原則として議会招集告示日に行っている。

臨時会における議案の送付も、可能な限り同様の扱いとする。

3) 予算の審査方法

平成20年度から試行を重ね、平成22年3月定例会から、予算（補正を含む。）は、予算決算特別委員会に付託し、同委員会において、詳細審査を総務文教、福祉環境、経済建設の3分科会に委任して審査（分科会では採決を行わない。）している。

※以前は、一般会計は各常任委員会に分割付託。特別会計、企業会計は所管の常任委員会で審査していた。当初予算については、審査前に全員で予算説明会を実施。

4) 決算の審査方法

平成18年度から試行を重ね、平成21年度の決算審査（平成22年9月定例会）から、予算決算特別委員会に付託し、同委員会において、詳細審査を総務文教、福祉環境、経済建設の3分科会に委任して審査する（分科会では採決を行わない。）こととした。

また、予算決算特別委員会の審査の一環として、各会派代表1人による、決算議案にかかる総括質疑を一般質問の実施前に本会議場において実施することとした。

※以前は、9月定例会において、一般会計は各常任委員会に分割付託。特別会計、企業会計は所管の常任委員会で審査していた。

5) 意見書の取扱い

提案者2名連署のうえ、一般質問最終日の前日までに提出された案文は、委員会での審査を原則とする。

6) 決議の取扱い

閉会日の前々日までに提出された決議は、その議会に提案する。

7) 一般質問の取扱い

ア 通告書の提出時期及び通告内容

一般質問の通告は、招集日の午後4時までとし、内容は、質問の要旨を具体的に記入する。

イ 発言順位の決定方法

通告の際、その都度抽選（くじ）を行い、番号の早い順としている。

ウ 質問時間及び回数制限

申合せにより、質問時間は30分以内（答弁は含まない。）とし、質問回数の制限はない。

8) 代表質問の取扱い

平成20年から試行を重ね、平成22年3月定例会から、議案に対する質問との位置付けの中で、当初予算議案及び施政方針を対象に、各会派代表1人による代表質問を実施。

取扱いについては、一般質問に準じている。

9) 質疑について

発言通告制により、発言の順序は議長が決める。

質疑時間の制限はないが、質疑回数は3回までとしている。

10) 緊急質問の取扱い

通告により、その諾否（緊急性）について議会運営委員会で協議する。

- 11) 傍聴の取扱い（委員会条例第19条）

委員会は、議員のほか、委員長の許可を得た者が傍聴することができる。
 - 12) 定例会の招集回数及び時期
定例会は年4回とし、3月、6月、9月及び12月に開く。
- (2) 請願（陳情）の取扱い
- 1) 提出期日
議会招集日の前々日までに提出されたものはその議会で審査する。
 - 2) 審査の際の紹介議員及び理事者の説明
 - ア 紹介議員は4人以内とする。また、議長、副議長及び所管の正副委員長は紹介議員とならないよう申し合わせている。
 - イ 請願（陳情）文書表により委員会付託を行う。
 - ウ 紹介議員の代表が説明をし、理事者からは参考として所見を聞く。
 - 3) 請願（陳情）者の趣旨説明
須崎市議会請願等趣旨説明実施要綱を作成し、平成22年3月定例会から、請願（陳情）者の希望により、委員会に出席し、趣旨説明を行うことができることとした。
 - ・説明はおおむね5分以内
 - ・説明のための出席者は2人以内、説明はその内の1人が行い、質疑に対する答弁は自由
 - 4) 委員会審査報告
会議規則第103条による報告書を議長あて作成、本会議での委員会報告は、委員長が口頭で行う。
 - 5) 請願（陳情）者へ結果通知
審査結果を直接通知するとともに、審査経過の確認のため、会議録の閲覧（概ね2か月後）が可能である旨を付記し、周知している。
- (3) タブレット端末・ペーパーレス会議システム
議会運営の効率化・迅速化、議会活動の活性化、見える化さらに危機管理体制強化のため、全議員にタブレット端末を貸与、令和3年9月定例会からペーパーレス会議システムの試験運用を開始し、令和4年3月定例会から本格導入した。
- (4) オンライン委員会
防災委員会での試行を経て、令和4年11月、オンライン委員会開催のための委員会条例及び会議規則を改正施行した。
- (5) AI音声認識システム・大型モニター
議会運営の効率化・迅速化、議会活動の活性化、危機管理体制強化さらに傍聴者への見える化を促進するため、令和5年6月定例会からAI音声認識システムにより映像とは別に字幕を表示及び質問者の表情等が視認できるよう大型モニターを設置し、試験運用を経て本格導入した。
- (6) オンライン一般質問
議会運営の効率化・迅速化、危機管理体制強化のため、令和6年3月、オンライン一般質問のための会議規則を改正施行した。
- (7) 請負状況の公表、ハラスメント防止等
議員の意識向上、透明性確保のため、令和6年3月定例会で請負状況の公表に関する条例及びハラスメントの防止等に関する要綱を制定した。

5 議会の活動状況

(1) 本会議開会及び会期日数

1) 定例会

(2024.1.1~2024.12.31)

区 分	会 期	日数	本会議	会議時間
3月定例会	2月20日～3月15日	25	6	25時間14分
6月定例会	6月10日～7月3日	24	6	18時間57分
9月定例会	8月27日～9月25日	30	6	20時間38分
12月定例会	11月26日～12月17日	22	6	19時間22分
計		101	24	84時間11分

2) 臨時会

(2024.1.1~2024.12.31)

開催なし

3) 傍聴者の推移

年 \ 定例会	3月	6月	9月	12月	計
2004年	46	65	69	21	(0) 201
2005年	36	62	35	26	(7) 159
2006年	81	51	102	33	(0) 267
2007年	48	76	93	27	(0) 244
2008年	50	52	32	23	(0) 157
2009年	26	64	53	30	(6) 173
2010年	17	38	56	44	(0) 155
2011年	35	18	33	46	(0) 132
2012年	14	8	53	28	(0) 103
2013年	19	3	21	19	(0) 62
2014年	40	20	37	1	(0) 98
2015年	10	32	48	8	(0) 98
2016年	12	24	39	3	(0) 78
2017年	16	18	31	4	(0) 69
2018年	18	10	16	8	(0) 52
2019年	8	20	17	6	(0) 51
2020年	11	8	13	16	(0) 48
2021年	3	17	43	20	(0) 83
2022年	8	13	62	16	(0) 99
2023年	27	14	36	18	(0) 95
2024年	19	14	40	16	(0) 89

() 内は臨時会傍聴者数

令和6年3月須坂市議会定例会会期日程

日次	月日	曜	開議時刻	摘 要
第1日	2月20日	火	午前10時	<ul style="list-style-type: none"> ・開 会 ・諸報告 ・会議録署名議員の指名・会期の決定 ・議案上程・提案説明・議案質疑 ・議案並びに請願の委員会付託
			(委員会)	予算決算特別委員会（分科会への議案委任） 各分科会・常任委員会（現地調査委員派遣要求）
第2日	21日	水		休 会（議案調査のため） ※現地調査 21日、22日
第3日	22日	木		
第4日	23日	金		
第5日	24日	土		
第6日	25日	日		
第7日	26日	月		
第8日	27日	火		
第9日	28日	水	一般質問	
第10日	29日	木		
第11日	3月1日	金		
第12日	2日	土		休 会
第13日	3日	日		
第14日	4日	月	午前9時	予算決算特別委員会（総務文教分科会）／総務文教委員会 予算決算特別委員会（福祉環境分科会）／福祉環境委員会 予算決算特別委員会（経済建設分科会）／経済建設委員会
第15日	5日	火		
第16日	6日	水		
第17日	7日	木		
第18日	8日	金		
第19日	9日	土		休 会
第20日	10日	日		
第21日	11日	月	午前9時	予算決算特別委員会（経済建設分科会）／経済建設委員会
第22日	12日	火		休 会
第23日	13日	水	午後2時	予算決算特別委員会
第24日	14日	木		休 会（議案調整のため）
第25日	15日	金	午後2時	<ul style="list-style-type: none"> ・委員長報告 ・委員長報告に対する質疑 ・討 論 ・採 決 ・閉 会

令和6年6月須坂市議会定例会会期日程

日次	月日	曜	開議時刻	摘 要
第1日	6月10日	月	午前10時	<ul style="list-style-type: none"> ・開 会 ・諸報告 ・会議録署名議員の指名・会期の決定 ・議案上程・提案説明・議案質疑 ・議案並びに請願の委員会付託 ・討論並びに採決（一部）
			(委員会)	予算決算特別委員会（分科会への議案委任） 各分科会・常任委員会（現地調査委員派遣要求）
第2日	11日	火		休 会（議案調査のため） ※現地調査 12日、13日
第3日	12日	水		
第4日	13日	木		
第5日	14日	金	午前9時	休 会（土地開発公社外2団体の予算・決算の説明）
			(委員会)	予算決算特別委員会 インター周辺等開発特別委員会
第6日	15日	土		休 会
第7日	16日	日		
第8日	17日	月		
第9日	18日	火	午前9時30分	<ul style="list-style-type: none"> ・委員長報告 ・委員長報告に対する質疑一般質問 ・討論 ・採決
				一般質問
				一般質問
第10日	19日	水		休 会
第11日	20日	木		
第12日	21日	金		
第13日	22日	土		
第14日	23日	日		
第15日	24日	月	午前9時	予算決算特別委員会（経済建設分科会）／経済建設委員会
第16日	25日	火		予算決算特別委員会（総務文教分科会）／総務文教委員会
第17日	26日	水		予算決算特別委員会（福祉環境分科会）／福祉環境委員会
第18日	27日	木		休 会
第19日	28日	金		
第20日	29日	土		
第21日	30日	日		
第22日	7月1日	月	午前9時30分	予算決算特別委員会
第23日	2日	火		休 会（議案調整のため）
第24日	3日	水	午前10時30分	<ul style="list-style-type: none"> ・委員長報告 ・委員長報告に対する質疑 ・討論 ・採 決
				・閉 会

令和6年9月須坂市議会定例会会期日程

日次	月日	曜	開議時刻	摘 要
第1日	8月27日	火	午前10時	・開 会 ・諸報告 ・会議録署名議員の指名・会期の決定 ・議案上程・提案説明・議案質疑 ・議案並びに請願の委員会付託
			(委員会)	予算決算特別委員会（分科会への議案委任） 各分科会・常任委員会（現地調査委員派遣要求）
第2日	28日	水		休 会（議案調査のため） ※現地調査 28日、30日
第3日	29日	木		
第4日	30日	金	午前9時	休 会（まち・ひと・しごと創生総合戦略についての報告外）
第5日	31日	土		休 会
第6日	9月1日	日		
第7日	2日	月	午前9時30分	予算決算特別委員会（総括質疑）
第8日	3日	火		一般質問
第9日	4日	水		
第10日	5日	木		
第11日	6日	金		
第12日	7日	土		休 会
第13日	8日	日		
第14日	9日	月	午前9時	予算決算特別委員会（福祉環境分科会）／福祉環境委員会
第15日	10日	火		予算決算特別委員会（経済建設分科会）／経済建設委員会
第16日	11日	水		
第17日	12日	木		
第18日	13日	金	予算決算特別委員会（総務文教分科会）／総務文教委員会	
第19日	14日	土		休 会
第20日	15日	日		
第21日	16日	月		
第22日	17日	火	午前9時	予算決算特別委員会（総務文教分科会）／総務文教委員会
第23日	18日	水		休 会
第24日	19日	木		
第25日	20日	金	午後2時	予算決算特別委員会
第26日	21日	土		休 会（議案調整のため）
第27日	22日	日		
第28日	23日	月		
第29日	24日	火		
第30日	25日	水	午前10時30分	・委員長報告 ・委員長報告に対する質疑 ・討 論 ・採 決 ・閉 会

令和6年12月須坂市議会定例会会期日程

日次	月日	曜	開議時刻	摘 要
第1日	11月26日	火	午前10時	<ul style="list-style-type: none"> ・開 会 ・諸報告 ・会議録署名議員の指名・会期の決定 ・議案上程・提案説明・議案質疑 ・議案並びに請願の委員会付託
			(委員会)	予算決算特別委員会（分科会への議案委任） 各分科会・常任委員会（現地調査委員派遣要求）
第2日	27日	水		休 会（議案調査のため） ※現地調査 28日、29日
第3日	28日	木		
第4日	29日	金		
第5日	30日	土		
第6日	12月1日	日		
第7日	2日	月		
第8日	3日	火	午前9時30分	一般質問
第9日	4日	水		
第10日	5日	木		
第11日	6日	金		
第12日	7日	土		休 会
第13日	8日	日		
第14日	9日	月	午前9時	予算決算特別委員会（総務文教分科会）／総務文教委員会
第15日	10日	火		予算決算特別委員会（福祉環境分科会）／福祉環境委員会
第16日	11日	水		予算決算特別委員会（経済建設分科会）／経済建設委員会
第17日	12日	木		休 会
第18日	13日	金	午後2時	予算決算特別委員会
第19日	14日	土		休 会（議案調整のため）
第20日	15日	日		
第21日	16日	月		
第22日	17日	火	午前10時30分	<ul style="list-style-type: none"> ・委員長報告 ・委員長報告に対する質疑 ・討 論 ・採 決 ・閉 会

(3) 議案の件数と審議結果

(2024.1.1~2024.12.31)

審議結果	市長提出議案				議員提出議案					計
	予算 決算	条例	人事 議案	その他	条例 規則	意見書 決議	附帯 決議	修正 動議	閉会中の 継続審査	
可決	34	48		15	3	12		1		113
修正可決	1									1
議決不要										0
否決						1		1		2
修正否決										0
継続審査										0
承認				6						6
同意			7							7
認定	8									8
報告				14						14
異議なき 旨を答申			1							1
計	43	48	8	35	3	13	0	2	0	152

(4) 新規条例案の審議結果（一部・全部改正を除く。）

(2024.1.1~2024.12.31)

なし

(5) 請願の件数と審議結果

(2024.1.1~2024.12.31)

提出	採択	一部採択	趣旨採択	不採択	継続	取り下げ	審議未了 その他
3	3						

※（ ）内は、継続審査中のもの — 該当なし

(6) 議員提出議案等の審議結果（意見書、決議を除く。）

(2024.1.1~2024.12.31)

議案	審議結果	年月日
須坂市議会会議規則の一部を改正する規則について	原案可決	2024年3月15日
須坂市議会委員会条例の一部を改正する条例について		
須坂市議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定について		

(7) 委員会開催状況 (2024.1.1~2024.12.31)

1) 常任委員会

委員会名	日 数			合 計
	開会中	閉会中	行政視察等	
総務文教委員会	9	2	5	16
福祉環境委員会	8	2	7	17
経済建設委員会	7	2	7	16
合 計	24	6	19	49

2) 議会運営委員会

委員会名	日 数			合 計
	開会中	閉会中	行政視察等	
議会運営委員会	9	5	2	16

3) 特別委員会

委員会名	日 数			合 計
	開会中	閉会中	行政視察等	
市議会広報特別委員会	6	8	2	16
予算決算特別委員会	11	1	0	12
インター周辺等開発 特別委員会	4	0	1	5
合 計	21	9	3	33

4) その他の会議状況

委員会名	日 数			合 計
	開会中	閉会中	行政視察等	
会派代表者会議	2	1	0	3
全 員 協 議 会	12	3	0	15
防 災 委 員 会	0	1	0	1
委 員 長 会	0	0	0	0
合 計	14	5	0	19

6 報酬・期末手当及び視察研修費

(1) 議員報酬

(単位：円)

改定年月日	議長	副議長	議員
平成2年4月1日	369,000	313,000	288,000
平成3年4月1日	392,000	332,000	306,000
平成4年4月1日	412,000	349,000	321,000
平成5年7月1日	429,000	363,000	334,000
平成8年4月1日	437,000	370,000	340,000
平成9年4月1日	447,000	379,000	348,000
平成10年4月1日	456,000	387,000	355,000
令和元年10月1日	460,700	391,000	358,700

[平成14年4月から平成15年1月まで、特例により議長は3%、副議長は2%、議員は1%を減額し、平成14年12月期末手当からまとめて控除した。]
 [平成25年10月から平成26年3月まで、特例により議長は10%、副議長は8%、議員は5%を減額した。]

(2) 議員の期末手当 (2025年4月1日現在)

6月 2.415か月 12月 2.415か月 計 4.83か月

(3) 政務活動費

会派所属議員数×年額 (1人当たり) 180,000円

(4) 視察・研修費

- 1) 議会運営委員会視察 (1人当たり) 年額 50,000円
- 2) 常任委員会視察 (1人当たり) 年額 110,000円
- 3) 特別委員会視察 (1人当たり) 年額 18,300円
- 4) 市議会広報特別委員会視察 (1人当たり) 年額 50,000円
- 5) 海外視察 平成14年度から凍結

6) 日当及び旅費等

(単位：円)

区分	車賃 (1キロメートルにつき)	日当 (1日につき)	宿泊料 (1夜につき)		食卓料 (1夜につき)
			県内	県外	
市長等	37	2,600	11,800	13,100	2,600
職員	37	2,200	9,800	10,900	2,200

- ・ 県内の日当は宿泊を除いて2分の1の額。ただし、市役所から50キロメートル以内に市役所又は町村役場が所在する市町村の区域内への旅行については宿泊を除いて支給しない。
- ・ 特別急行列車料金
特別急行列車 (新幹線を含む。) を運行する線路による片道50キロメートル以上のもの
- ・ 普通急行列車料金
普通急行列車を運行する線路による旅行で片道30キロメートル以上のもの

(5) 市長等の給与

(単位：円)

職名	現 行		改 定 前	
	月 額	施 行 年 月 日	月 額	施 行 年 月 日
市 長	861,900	令和元年10月1日	853,000	平成27年8月1日
副 市 長	713,400	//	706,000	//
教 育 長	619,400	//	613,000	//

※条例の一部改正により、条例で定める給料月額から期間を定めて減額した事例 複数回あり

(6) 各種委員の報酬

(2025年4月1日現在)

職 名		報 酬 の 額 (円)		
		年 額	月 額	日 額
選挙管理委員会の委員	委 員 長		59,300	
	委 員		40,900	
監 査 委 員	識 見 を 有 す る 者		95,300	
	議員のうちから選任された者		58,400	
農 業 委 員 会 の 委 員	会 長		85,500	
	副 会 長		57,300	
	委 員		45,000	
農業委員会の農地利用 最適化推進委員	農地利用最適化推進委員		45,000	
教育委員会の委員	委 員		68,000	
福 祉 委 員	委 員 長	90,700		
	副委員長及び地区会長	79,500		
	委 員	72,400		
投・開票管理者等	選 挙 長			10,800
	投票所の投票管理者		国会議員の選挙等 の執行経費の基準	12,800
	期日前投票所の投票管理者		に関する法律（昭 和25年法律第179	11,300
	開 票 管 理 者		号）に定める額に	10,800
	投票所の投票立会人		相当する額（日	10,900
	期日前投票所の投票立会人		額）	9,600
	開 票 立 会 人			8,900
選 挙 立 会 人			8,900	
各種審議会等委員				6,500

・報酬を日額で受ける非常勤の職員のうち、投・開票管理者等を除く職員には、その勤務時間が4時間以内の場合は、日額の半額を支給することができる。

7 調査、広報及び情報公開

(1) 議会図書室

- | | |
|-----------------------|---------|
| 1) 議会図書室の面積 | 48.082㎡ |
| 2) 蔵書冊数(2025年4月現在) | 1,591冊 |
| 3) 図書購入予算 2025年度当初予算額 | 80,000円 |

(2) 議会刊行物

名称	発行回数	発行部数	配布先	編集方法
会議録	定例会 (臨時会も含む)	30冊	議員・執行部 (市長、教育長、代表監査委員等へ) 市立図書館	ICレコーダー使用 反訳後校正
議会資料				
予算、決算資料	定期 (3、9月定例会前)	電子データのみ	議員・執行部 (部課等の長) 議員・行政視察	事務局で資料の収集を行い編集
市議会要覧	定期 (4月)	200冊		
先例集	4年毎(改選時) ※随時加除	30冊	議員等	事務局で増補改訂編集
こんにちは 須坂市議会です (市議会だより)	定期(年4回) (5月、8月、11月、2月)	19,389部 (2025.4現在)	市内全世帯	市議会広報特別委員会で編集
	昭和55年5月1日創刊(一般質問・委員会審査・議会の活動状況を掲載)			
議員ハンドブック	4年毎(改選時)	50冊	議員等	事務局で編集

(3) インターネット市議会情報

主な内容

市議会のあらし、市議会議員名簿、議長・副議長等スケジュール、会期日程、一般質問通告、会議録検索、決議・意見書(提出議案と賛否一覧を含む)審議結果、視察報告、政務活動費収支状況、こんにちは須坂市議会です(市議会だより)

(4) 市議会だよりモニター(2023年度から試行)

市議会だよりの充実並びに広報を通じて開かれた議会を目指すため、モニター制度を試行

(5) SNS(公式フェイスブック、エックス、インスタグラム)

市議会に対する市民の関心を高めるため、議会公式フェイスブック及びエックス(2021年6月開始)で定例会会期、一般質問通告、審議結果、公式行事報告などを発信、さらに、2025年2月からインスタグラムを試行

(6) テレビ放映

(株)Goolightを通じて、1990年9月から一般質問、2000年6月から最終日委員長報告、議決の様子を完全生中継。さらに、一般質問の再放送を含め市長の施政方針演説及び決算説明等についても録画放送

(7) 本会議録画映像配信(YouTube)

市議会への興味・関心を高めるため、2008年6月から市議会ページで、2024年3月からYouTubeにより本会議録画映像を公開

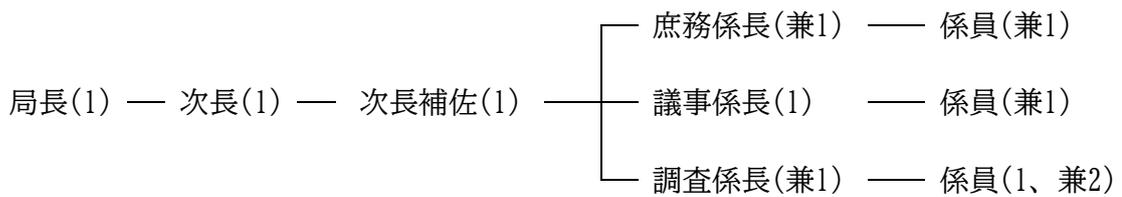
(8) 情報公開

1999年10月1日以降に議会が作成又は取得した公文書について、須坂市情報公開条例に基づき公開

8 議会事務局（2025年4月1日現在）

(1) 機構と職員数

条例定数 8人（兼任1人） 現員数 6人（男4人 女2人）（兼任1人）



(2) 市外からの行政視察の受け入れ状況

年 度	件 数	議 員	随行職員その他
2013年度	20件	128人	19人
2014年度	15件	96人	20人
2015年度	20件	134人	23人
2016年度	13件	80人	21人
2017年度	13件	94人	22人
2018年度	8件	48人	9人
2019年度	8件	53人	11人
2020年度	新型コロナウイルス感染症の影響により受入なし		
2021年度	//		
2022年度	13件	73人	18人
2023年度	10件	56人	10人
2024年度	16件	96人	25人

(3) 議会の予算（2025年度）

1) 歳 入 当初予算 425千円（一般会計中 0.001%）

区 分	予算額 (千円)	説 明 (円)
雑 入	425	電子端末使用料

2) 歳 出 当初予算 214,679千円（一般会計中 0.69%）

区 分	予算額 (千円)	説 明 (円)
報 酬	87,701	月 額（議長 460,700 副議長 391,000 議員 358,700）
給 料	21,967	一般職員給料
職員手当等	49,411	議員期末手当 35,300,000 職員手当等 14,111,000
共 済 費	30,546	議員共済会事務負担金 260,000 議員共済給付費負担金 23,242,000 職員共済組合負担金 7,044,000
報 償 費	260	講師謝礼 100,000 謝礼 160,000
旅 費	5,007	費用弁償 3,874,000 普通旅費 1,133,000
交 際 費	300	議会交際費 300,000
需 用 費	4,567	消耗品費 518,000 食糧費 35,000 印刷製本費 4,004,000 修繕料 10,000
役 務 費	750	通信運搬費 189,000 広告料 27,000 手数料 534,000
委 託 料	6,236	事務機器保守点検委託料 588,000 本会議ネット配信業務委託料 264,000 会議録作成委託料 5,384,000
使用料及び 賃借料	3,580	使用料 39,000 自動車借上料 374,000 機器賃借料 2,170,000 受信料 24,000 システム使用料 973,000
備品購入費	80	図書購入費 80,000
負担金補助 及び交付金	4,274	全国市議会議長会負担金外 497,000 会議等出席負担金 177,000 政務活動費 3,600,000

9 意見書、決議等の状況

(1) 意見書

2016年(平成28年)以降

提出年月日	件名	結果
平成28年3月18日	「集団的自衛権」行使を具体化し、戦争につながる「安全保障関連二法」のすみやかな廃止を求める意見書	否決
	米軍輸送機C V22・MV22 および自衛隊オスプレイの配備・飛行訓練に反対し、飛行中止を求める意見書	否決
	オスプレイの低空飛行訓練中止を求める意見書	可決
平成28年7月6日	義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書	可決
平成28年9月27日	国の責任による35人学級推進と、教育予算の増額を求める意見書	可決
	奨学金制度の充実等を求める意見書	可決
平成28年12月13日	免税軽油制度の継続を求める意見書	可決
平成29年3月17日	オスプレイの低空飛行訓練の中止および横田基地への配備と自衛隊への導入に反対する意見書	可決
	オスプレイの低空飛行訓練の中止を求める意見書	否決
	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める意見書	可決
	「共謀罪(テロ等準備罪)」法案の国会提出に反対する意見書	可決
	「治安維持法犠牲者国家賠償法(仮称)」の制定を求める意見書	否決
平成29年7月5日	義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書	可決
	地方財政の充実・強化を求める意見書	可決
	雪崩遭難者救助対策の推進を求める意見書	可決
	ギャンブル等依存症対策の抜本的強化を求める意見書	可決
平成29年9月26日	道路整備事業に係る補助率等の嵩上げ措置の継続を求める意見書	可決
	2027国民体育大会卓球競技須坂市開催を求める意見書	可決
	地域公共交通に対する支援の充実を求める意見書	可決
	国の責任による35人学級推進と、教育予算の増額を求める意見書	可決
	唯一の戦争被爆国政府として日本政府が、国連「核兵器禁止条約」に賛同し、批准の手続きを進めることを求める意見書	可決
	安倍首相の提起する憲法9条の改定に反対し、憲法が唱える理想の実現を求める意見書	否決
	森林環境税(仮称)の早期創設及び林業の成長産業化と森林の適切な管理の推進を求める意見書	可決
	受動喫煙防止対策を進めるために健康増進法の改正を求める意見書	可決

提出年月日	件名	結果
平成29年12月12日	保育士配置基準の見直しと公定価格の増額を求める意見書	可決
	相之島排水機場設備更新を求める意見書	可決
平成30年7月4日	義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書	可決
	国の責任による35人学級推進と、教育予算の増額を求める意見書	可決
	地方財政の充実・強化を求める意見書	可決
	旧優生保護法による不妊手術の被害者救済を求める意見書	可決
平成30年9月26日	主要農産物種子法の復活を求める意見書	可決
	学校施設や通学路におけるブロック塀等の安全性確保を求める意見書	可決
平成30年12月11日	消費税10%への引き上げ中止を求める意見書	否決
	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める意見書	可決
	認知症施策の推進を求める意見書	可決
平成31年3月22日	辺野古新基地建設工事中止を求める意見書	否決
	米軍基地負担に関する意見書	可決
	食品ロス削減に向けてのさらなる取り組みを進める意見書	可決
令和元年7月3日	義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書	可決
	国の責任による35人学級推進と、教育予算の増額を求める意見書	可決
	児童虐待防止対策のさらなる強化を求める意見書	可決
	新たな過疎対策法の制定に関する意見書	可決
令和元年9月25日	地方財政の充実・強化を求める意見書	可決
	高齢者の安全運転支援と移動手段の確保を求める意見書	可決
令和2年3月13日	医師養成定員を減らす政府方針の見直し並びに地域医療を担う医師の確保を求める意見書	可決
	台風19号に係る復旧・復興に向けた対策を求める意見書	可決
	令和元年台風19号災害からの早期復旧を求める意見書	可決
令和2年7月8日	義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書	可決
	国の責任による35人学級推進と、教育予算の増額を求める意見書	可決
	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書	可決
令和2年9月18日	地方自治体のデジタル化の着実な推進を求める意見書	否決
	防災・減災・国土強靱化対策の継続・拡充を求める意見書	否決
令和2年12月16日	安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための意見書	可決
	「敵基地攻撃能力」の保有に反対し平和外交の推進を求める意見書	否決

提出年月日	件名	結果
令和2年12月16日	災害からの復旧・復興及び国土強靱化等に向けた社会資本整備の促進を求める意見書	可決
令和3年6月30日	義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書	可決
	さらなる少人数学級推進と教育予算の増額を求める意見書	可決
	最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書	否決
令和4年6月29日	再審法（刑事訴訟法の再審規定）の改正を求める意見書	可決
	義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書	可決
	さらなる少人数学級推進と教育予算の増額を求める意見書	可決
令和4年9月27日	シルバー人材センターに対する支援を求める意見書	可決
令和4年12月13日	安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める意見書	可決
	厚生年金への地方議会議員の任意加入を求める意見書	可決
令和5年3月24日	最低賃金法の改正と中小企業支援策の拡充を求める意見書	否決
令和5年7月5日	義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書	可決
	さらなる少人数学級推進と教育予算の増額を求める意見書	可決
令和5年9月26日	「健康保険証」の存続を求める意見書	否決
令和5年12月12日	パレスチナ自治区ガザ地区における紛争の平和的解決に全力を尽くすことを求める意見書	可決
令和6年3月15日	長野少年鑑別所の長野刑務所敷地内への移転計画に対する意見書	可決
令和6年7月3日	義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書	可決
	さらなる少人数学級推進と教員増のための教育予算の増額を求める意見書	可決
	訪問介護費の引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める意見書	可決
令和6年9月25日	女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書	可決
	国民健康保険財政への国庫負担の増額を求める意見書	可決
	政府の責任で医療・介護施設への支援を拡充しすべてのケア労働者の賃上げや人員増を求める意見書	可決
	改正地方自治法の「国の指示権」に対する慎重かつ適切な行使を求める意見書	可決
	小中学校の給食の無償化と質の向上を国に求める意見書	可決
	現行の健康保険証の存続を求める意見書	否決
令和6年12月17日	持続可能な学校の実現を目指す意見書	可決
	年収の壁見直しに関する十分な議論と地方財政への配慮を求める意見書	可決

(2) 決議等

1954年(昭和29年)以降

提出年月日	件名	結果
昭和29年5月31日	凍霜害対策に関する決議	可決
昭和30年6月30日	上原市長鞭撻決議	可決
	地方自治法一部改正案に対する反対決議	可決
	地方財政再建促進特別措置法案反対決議	可決
昭和33年10月10日	市長執務精励勧告決議	可決
昭和33年12月24日	自動警報機設置要請に関する建議	可決
昭和35年7月2日	米価要求に関する要望決議	可決
昭和37年12月13日	自動警報機設置要請に関する建議	可決
昭和39年9月30日	米国原子力潜水艦の日本寄港に反対する決議	否決
昭和41年3月26日	須坂市職員の退職手当の臨時特例に関する条例の設置を求める決議	審議未了
	篠ノ井線の分岐点を屋代駅とする要望決議	可決
	中国黒竜江省方正県における日本人公墓建設に対する感謝決議	可決
昭和41年6月24日	早場米時期別格差金制度の存続・強化に関する決議	可決
昭和41年12月17日	有線放送電話を守る決議	可決
昭和42年6月26日	早場米時期別格差金制度存続確保に関する決議	可決
	市街地商店街と都市計画整備促進に関する決議	可決
	関越自動車道直江津線に関する決議	可決
昭和42年9月30日	寄付条例制定に関する決議	可決
昭和43年10月2日	地方交付税の税率引下げに反対する決議	可決
昭和43年12月16日	児童手当制度の早期実現に関する要望書	可決
昭和43年12月20日	地方税に関する決議	可決
昭和46年9月23日	日中国交回復に関する決議	可決
昭和46年12月10日	原爆被害者援護法制定に関する決議	可決
	沖縄返還協定批准並びに関係法案反対に関する決議	否決
昭和51年8月30日	地方制度調査会の答申における半数改選制の反対に関する決議	可決
昭和55年7月8日	暴走族追放宣言に関する決議	可決
昭和55年12月18日	北方領土の返還促進と「北方領土の日」制定に関する決議	可決
	金大中氏らの救出の善処に関する決議	可決
昭和56年9月10日	15号台風による災害復旧促進に関する決議	可決
昭和57年3月24日	第9次道路整備5か年計画の策定に関する決議	可決
昭和57年12月10日	シートベルト着用宣言に関する決議	可決
昭和58年9月26日	人種差別撤廃条約の早期批准に関する決議	可決
	大韓航空機撃墜事件に関する決議	可決
昭和59年1月6日	政治倫理確立に関する決議	可決
昭和60年9月24日	農業発展と食糧安定確保に関する決議	可決
昭和62年3月24日	暴力団追放に関する決議	可決
昭和62年9月25日	1998年冬季オリンピック長野県招致に関する決議	可決

提出年月日	件名	結果
昭和63年3月23日	極左暴力集団排除に関する決議	可決
平成2年6月20日	工科系職業訓練短期大学の誘致に関する決議	可決
	地球的規模の環境問題に関する決議	可決
平成2年12月17日	「ゆとり宣言」に関する決議	可決
平成3年6月17日	(仮称)須坂インターの名称を「須坂インターチェンジ」に正式決定することに関する決議	可決
平成4年9月24日	「環境宣言」に関する決議	可決
平成7年3月20日	戦後50周年にあたり、アジア太平洋戦争を反省し、不戦・恒久平和を誓う決議	可決
平成8年6月20日	暴力追放に関する決議	可決
平成8年12月17日	憲法50周年決議	可決
平成10年6月18日	インド並びにパキスタンの核実験に抗議し核兵器根絶を求める決議	可決
平成11年6月18日	議員及び議会の倫理の確立に関する決議	可決
平成13年9月26日	テロ根絶と恒久平和を求める決議	可決
平成18年6月23日	交通事故防止に関する決議	可決
平成21年9月30日	核兵器の廃絶と恒久平和を求める決議	可決
平成23年9月29日	市長問責決議	否決
平成25年7月2日	2020年東京オリンピック・パラリンピックの招致活動に関する決議	可決
平成27年9月29日	新学校給食センター建設候補地を仁礼地区にこだわらず、早期建設を求める決議	可決
平成28年7月6日	子育て環境を充実させるため、保育所の正規雇用保育士増員を求める決議	可決
令和元年9月25日	市長問責決議	否決
令和4年3月4日	ロシアによるウクライナへの侵略に断固抗議する決議	可決
令和4年3月25日	議長不信任決議	可決
令和5年12月12日	市長不信任決議	否決
令和6年3月15日	政治資金規正法の改正を含めた再発防止に必要な措置を求める決議	可決

10 歴代正副議長及び事務局長

(1) 歴代議長

氏名	期 間
北沢六三郎	S29.4.1 ~ S30.2.10
永井 真吉	S30.2.11 ~ S34.2.10
〃	S34.2.11 ~ S38.2.10
藤沢 正	S38.2.11 ~ S39.2.12
本藤 秀松	S39.2.12 ~ S40.2.10
松沢令之助	S40.2.10 ~ S42.2.10
本藤 秀松	S42.2.13 ~ S44.2.12
藤沢 正	S44.2.12 ~ S46.2.10
本藤 秀松	S46.2.13 ~ S48.2.12
小松太兵衛	S48.2.13 ~ S50.2.10
永田 保	S50.2.15 ~ S52.2.8
今井 信	S52.2.8 ~ S54.2.10
〃	S54.2.13 ~ S56.2.9
中沢 允	S56.2.9 ~ S58.2.10
関野 勲	S58.2.15 ~ S60.2.12
豊田 稔	S60.2.12 ~ S62.2.10
小布施 茂	S62.2.17 ~ H元.2.13
〃	H元.2.13 ~ H 3.2.10
上野 恒夫	H 3.2.12 ~ H 5.2.15
佐藤 哲夫	H 5.2.15 ~ H 7.2.10
丸山 孝一	H 7.2.15 ~ H 9.2.13
堀内 幸尚	H 9.2.13 ~ H11.2.10
佐々木啓佐義	H11.2.15 ~ H13.2.13
〃	H13.2.13 ~ H14.7.5
北澤 正啓	H14.7.5 ~ H15.2.10
植木 新一	H15.2.12 ~ H17.2.15
善財 文夫	H17.2.15 ~ H19.2.10
永井 康彦	H19.2.14 ~ H21.2.16
佐藤壽三郎	H21.2.16 ~ H22.3.24
古谷 秀夫	H22.3.26 ~ H23.2.10
豊田 清寧	H23.2.15 ~ H25.2.13
〃	H25.2.13 ~ H27.2.10
北澤 雄一	H27.2.12 ~ H29.2.7
関野 芳秀	H29.2.7 ~ H31.2.10
中島 義浩	H31.2.12 ~ R 3.2.9
塩崎 貞夫	R 3.2.9 ~ R 5.2.10
浅井 洋子	R 5.2.13 ~ R 7.2.12
石合 敬	R 7.2.12 ~ 在職中

(2) 歴代副議長

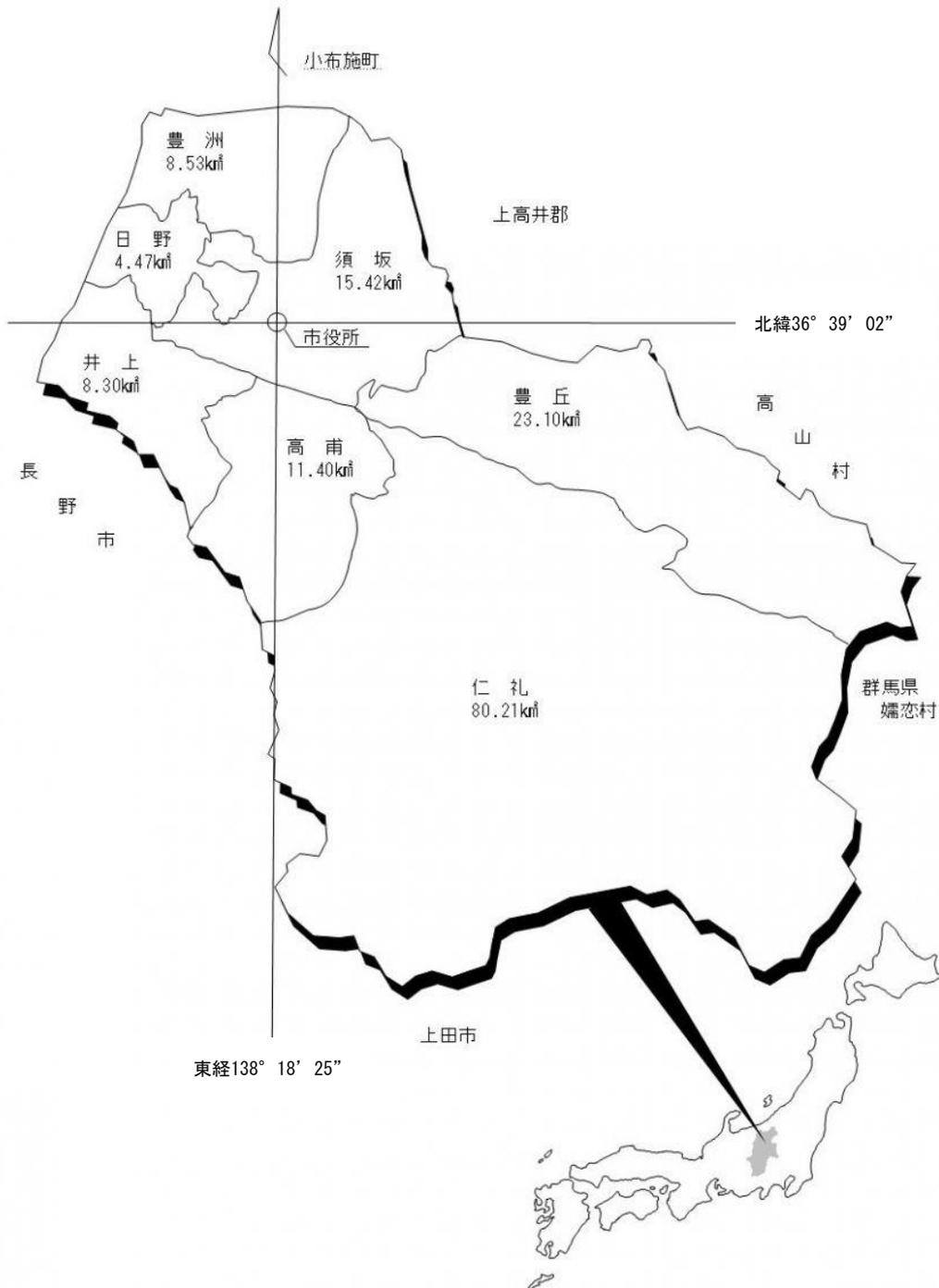
氏名	期 間
原 繁治郎	S29.4.1 ~ S30.2.10
北村 雅雄	S30.2.11 ~ S34.2.10
羽生田 薫	S34.2.11 ~ S36.2.12
湯本 寛治	S36.1.7 ~ S38.2.10
中島 武臣	S38.2.11 ~ S39.2.12
松沢令之助	S39.2.12 ~ S40.2.10
佐藤 保	S40.2.10 ~ S42.2.10
小松太兵衛	S42.2.13 ~ S44.2.12
今井 信	S44.2.12 ~ S46.2.10
佐藤 進	S46.2.13 ~ S48.2.12
永田 保	S48.2.13 ~ S50.2.10
青木 信夫	S50.2.15 ~ S51.2.6
青木 周一	S51.2.16 ~ S52.2.8
近藤 幾治	S52.2.8 ~ S54.2.10
関野 勲	S54.2.13 ~ S56.2.9
青木 周一	S56.2.9 ~ S58.2.10
豊田 稔	S58.2.15 ~ S60.2.12
田中 道雄	S60.2.12 ~ S62.2.10
上野 恒夫	S62.2.17 ~ H元.2.13
青木 周一	H元.2.13 ~ H 3.2.10
堀内 幸尚	H 3.2.12 ~ H 5.2.15
荒井義太郎	H 5.2.15 ~ H 7.2.10
永井 一雄	H 7.2.15 ~ H 9.2.13
長張 貞佑	H 9.2.13 ~ H11.2.10
植木 新一	H11.2.15 ~ H13.2.13
古谷 秀夫	H13.2.13 ~ H15.2.10
善財 文夫	H15.2.12 ~ H17.2.15
佐藤 庄司	H17.2.15 ~ H19.2.10
浅野 隆一	H19.2.14 ~ H21.2.16
永井 光明	H21.2.16 ~ H23.2.10
関野 芳秀	H23.2.15 ~ H25.2.13
堀内 孝人	H25.2.13 ~ H27.2.10
中島 義浩	H27.2.12 ~ H29.2.7
竹内 勉	H29.2.7 ~ H31.2.10
酒井 和裕	H31.2.12 ~ R 3.2.9
霜田 剛	R 3.2.9 ~ R 5.2.10
荒井 敏	R 5.2.13 ~ R 7.2.12
浅野 隆義	R 7.2.12 ~ 在職中

(3) 歴代事務局長

氏名	期 間	氏名	期 間
中島宇三治	S29.6.1 ~ S30.3.31	古川 誠	H14.4.1 ~ H17.3.31
竹内 久雄	S30.4.1 ~ S43.6.30	森泉 完志	H17.4.1 ~ H19.3.31
渡辺 修	S43.7.1 ~ S54.3.31	佐藤 昭雄	H19.4.1 ~ H21.3.31
小林 善助	S54.4.1 ~ S55.3.31	根津 良一	H21.4.1 ~ H23.3.31
丸山福治郎	S55.4.1 ~ S63.3.31	宮本 泰也	H23.4.1 ~ H26.3.31
古平 嘉一	S63.4.1 ~ H 2.3.31	丸田 誠	H26.4.1 ~ H27.3.31
佐藤 元広	H 2.4.1 ~ H 4.3.31	伊藤 範子	H27.4.1 ~ H28.3.31
佐藤 郁夫	H 4.4.1 ~ H 8.3.31	加藤 剛	H28.4.1 ~ R 2.3.31
青木 英男	H 8.4.1 ~ H11.3.31	西原 孝一	R 2.4.1 ~ R 4.3.31
牧 勝司	H11.4.1 ~ H13.3.31	牧 章一	R 4.4.1 ~ R 6.3.31
越 強	H13.4.1 ~ H14.3.31	北堀 智	R 6.4.1 ~ 在職中

II 市 勢

1 須坂市の位置



須坂市は、長野県の北東部に位置し、西は千曲川の清流を隔てて県都長野市と接し、東南部は上田市、群馬県嬭恋村と隣接しており、鉄道で長野市の中心部へ20分、東京都へ約2時間、名古屋市へ約3時間、金沢市へは約1時間の位置にある。

市の東部は、長野盆地（善光寺平）の東縁山麓にあり、上信火山帯より流出する百々川、松川が形成する扇状地上に、また市の西部は盆地の中央を流れる千曲川の氾濫原の上にある。

2 須坂市の沿革

須坂市は長野盆地の東部に位置し、西は千曲川をはさんで長野市に、南は長野市若穂地区、菅平高原で上田市に、北は上高井郡小布施町、北から東にかけて上高井郡高山村及び三国山地をもって群馬県吾妻郡嬭恋村に接している。

須坂市の地方自治体としての経緯を見ると、江戸時代に須坂藩の館町及びその商業集落として成立した須坂村が、明治9年にはじめて須坂町となる。同22年の町村制施行で、小山村のうち穀町組を編入し、大正11年には豊丘村のうち旧小山・坂田村を、また、昭和11年には、日滝・大谷・高橋・相森新田からなる日滝村を編入した。そして昭和29年2月11日に日野・豊洲村と合併し、同年4月1日に市制をしき、第2次世界大戦後長野県内初、7番目の市として誕生した。翌年1月1日井上・高甫村を編入し、さらに昭和46年4月30日に東村を編入して、現市域を形成するに至っている。

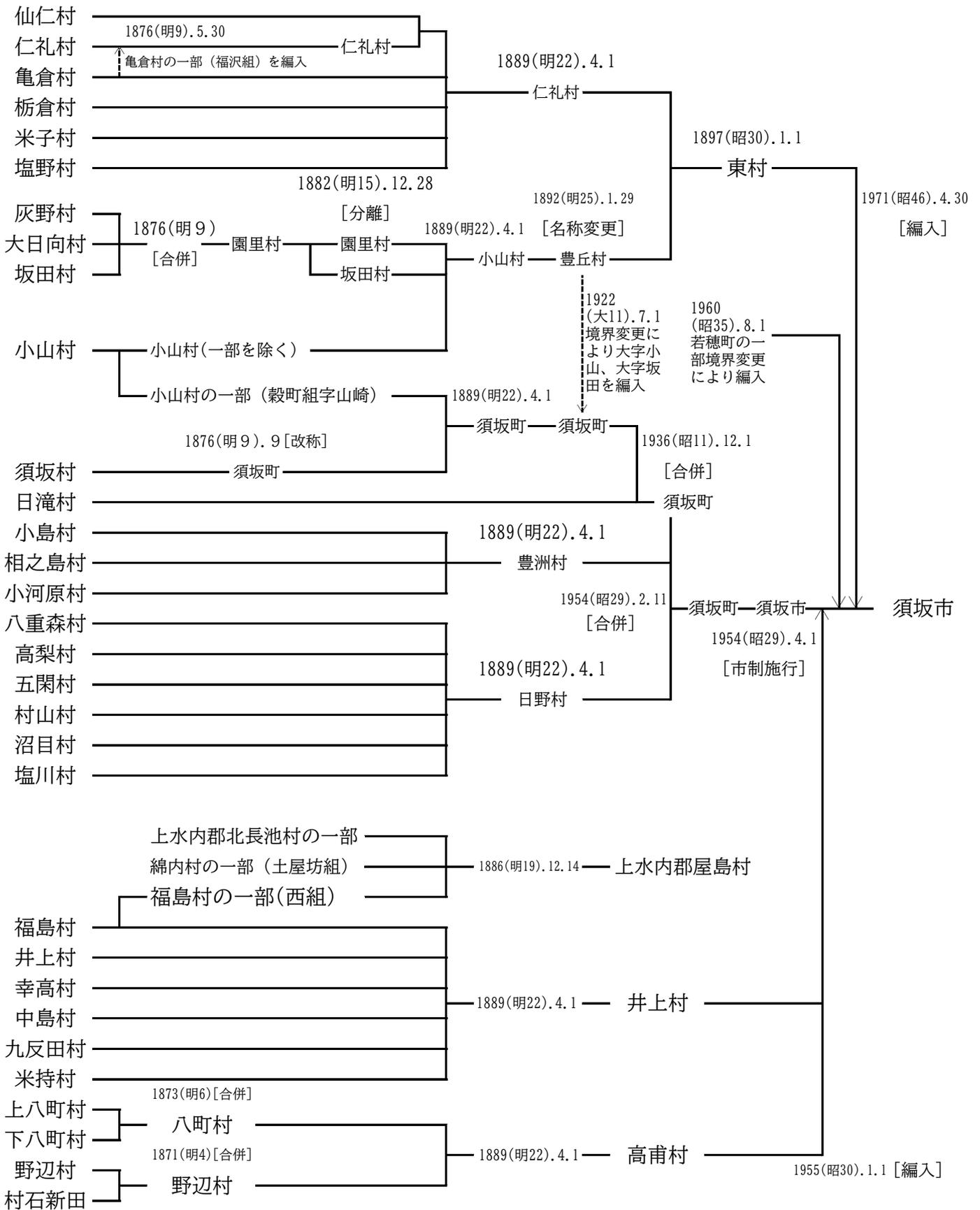
なお、昭和29年以後合併した旧村の経緯は次のようである。明治22年の町村制施行によって、日野村は高梨・塩川・沼目・五閑・八重森・村山の6か村、豊洲村は小河原・小島・相之島の3か村、井上村は井上・米持・幸高・九反田・中島・福島の高甫村は上八町・下八町村からなる八町と野辺・村石村からなる野辺の2か村から成立した。また、東村は昭和30年に仁礼村と豊丘村の合併によって成立した。仁礼村は明治20年に仙仁村と、同22年に栃倉・亀倉・米子・塩野の4か村と合併した。豊丘村は明治9年に灰野村と大日向・坂田村が合併して園里村となり、同22年に園里村と坂田・小山村が合併し小山村と称し、同25年に豊丘村と改称した。

須坂市は現在、電子工業を中心とする工業と、りんご・ぶどうなどの落葉果樹農業がさかんな生産都市で、人口約5万人の都市となっている。

(1) 市制施行以降の沿革

年月日	合併・編入の地域	合併・編入の面積	合併・編入後の面積	合併・編入後の世帯・人口	
				世帯数	人口
1954年 (昭和29).4.1	市制施行	Km ² —	Km ² 28.42	世帯 6,130	人 30,576
1955年 (// 30).1.1	井上・高甫村を編入合併	19.70	48.12	7,402 (4月1日現在)	37,633
1960年 (// 35).8.1	境界変更により若穂町東山地籍を編入 4戸・17人	(3,783m ²)	48.12	8,026	38,442
1971年 (// 46).4.30	東村を編入合併 948戸・4,327人	103.31	151.43	12,011 (5月1日現在)	45,806
1988年 (// 63).10.1	国土地理院発表	—	149.84	—	—

(2) 須坂市の系図



3 面積と地勢

総面積	広ぼう	主要河川・山岳
149.67 Km ²	東西 16.4 km 南北 16.7 km	○河川（1級河川、県内流路総延長）（km）
		千曲川 213.5 松川 26.4
		八木沢川 15.0 百々川 18.9
		鮎川 10.6 灰野川 7.6
		仙仁川 4.7 奈良川 3.3
		○山岳（海拔）（m）
		明覚山 958 鎌田山 485
		奈良山 1,639 米子山 1,404
		土鍋山 1,999 浦倉山 2,091
		奇妙山 1,629 四阿山 2,354
		根子岳 2,207 梯子山 1,513
		熊窪山 1,254 臥竜山 471
		妙徳山 1,293 破風岳 1,999

4 世帯数及び人口の推移【国調ベース（各年10月1日現在）】

区分 年次	世帯数	人口			備考
		総数	男	女	
	世帯	人	人	人	
2000年	17,323	54,207	26,420	27,787	(国勢調査)
2001年	17,428	54,097	26,369	27,728	
2002年	17,573	53,978	26,338	27,640	
2003年	17,790	53,843	26,237	27,606	
2004年	18,049	53,804	26,240	27,564	
2005年	17,863	53,668	26,292	27,376	(国勢調査)
2006年	17,998	53,334	26,137	27,197	
2007年	18,182	53,104	26,000	27,104	
2008年	18,334	52,895	25,891	27,004	
2009年	18,477	52,667	25,753	26,914	
2010年	18,106	52,168	25,466	26,702	(国勢調査)
2011年	18,179	51,924	25,363	26,561	
2012年	18,254	51,549	25,210	26,339	
2013年	18,352	51,234	25,033	26,201	
2014年	18,492	51,045	24,924	26,121	
2015年	18,447	50,725	24,790	25,935	(国勢調査)
2016年	18,561	50,535	24,709	25,826	
2017年	18,669	50,305	24,602	25,703	
2018年	18,848	49,991	24,515	25,476	
2019年	18,982	49,734	24,462	25,272	
2020年	18,839	49,559	24,324	25,235	(国勢調査)
2021年	18,980	49,347	24,221	25,126	
2022年	19,167	49,068	24,042	25,026	
2023年	19,266	48,804	23,929	24,875	
2024年	19,376	48,463	23,814	24,649	

Ⅲ 行 政

1 財 政

(1) 一般・特別・企業会計歳入歳出予算総括表

(単位：千円)

会計別 区 分		2025年度		2024年度	
		当初予算額	構成比 (%)	当初予算額	構成比 (%)
一 般 会 計		31,200,000	64.70	27,030,000	61.68
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	4,869,076	10.10	4,831,271	11.03
	井上、幸高、九反田、中島財産区	7,378	0.02	7,137	0.02
	介 護 保 険	4,926,169	10.22	4,719,000	10.77
	後 期 高 齢 者 医 療	952,693	1.98	910,522	2.08
	小 計	10,755,316	22.31	10,467,930	23.89
企 業 会 計	水 道 事 業	2,508,415	5.20	2,404,052	5.49
	下 水 道 事 業	3,750,997	7.78	3,913,361	8.93
	宅 地 造 成 事 業	4,419	0.01	4,898	0.01
	小 計	6,263,831	12.99	6,322,311	14.43
合 計		48,219,147	100.00	43,820,241	100.00

(2) 主要財政数値

区 分	2024年度	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度	2019年度
財政力指数	0.547	0.550	0.558	0.568	0.582	0.581
実質収支比率 (%)		7.0	7.3	7.9	7.4	1.4
公債費比率 (%)	—	—	—	—	—	—
起債制限比率 (%)	—	—	—	—	—	—
経常収支比率 (%)		91.7	91.7	89.3	90.2	91.7
健全化判断比率						
実質赤字比率 (%)	—	—	—	—	—	—
連結実質赤字比率 (%)	—	—	—	—	—	—
実質公債費比率 (%)	—	8.0	8.2	8.8	9.3	9.5
将来負担比率 (%)	—	比率算定なし	比率算定なし	15.5	19.1	20.1
ラスパイレス指数	99.4	99.0	98.5	98.5	99.2	99.2

(3) 一般会計当初予算款別比較表

1) 歳入

(単位：千円)

款別	年度 区分	2025年度				2024年度	
		当初予算額 (A)	構成比 割合 (%)	比較		当初予算額 (B)	構成比 割合 (%)
				(A) - (B)	伸率 (%)		
1	市 税	6,560,000	21.03	392,000	6.36	6,168,000	22.82
2	地方譲与税	210,200	0.67	△ 4,300	△ 2.00	214,500	0.79
3	利子割交付金	1,600	0.01	0	0.00	1,600	0.01
4	配当割交付金	36,700	0.12	6,600	21.93	30,100	0.11
5	株式等譲渡所得割交付金	27,000	0.09	2,200	8.87	24,800	0.09
6	法人事業税交付金	106,100	0.34	600	0.57	105,500	0.39
7	地方消費税交付金	1,298,000	4.16	△ 53,000	△ 3.92	1,351,000	5.00
8	ゴルフ場利用税交付金	4,300	0.01	△ 1,300	△ 23.21	5,600	0.02
9	環境性能割交付金	17,100	0.05	600	3.64	16,500	0.06
10	地方特例交付金	64,800	0.21	△ 214,700	△ 76.82	279,500	1.03
11	地方交付税	5,800,000	18.59	400,000	7.41	5,400,000	19.98
12	交通安全対策特別交付金	6,500	0.02	△ 500	△ 7.14	7,000	0.03
13	分担金及び負担金	259,607	0.83	△ 47,347	△ 15.42	306,954	1.14
14	使用料及び手数料	303,577	0.97	1,324	0.44	302,253	1.12
15	国庫支出金	3,410,902	10.93	632,116	22.75	2,778,786	10.28
16	県支出金	1,615,374	5.18	189,389	13.28	1,425,985	5.28
17	財産収入	27,134	0.09	4,718	21.05	22,416	0.08
18	寄附金	2,500,650	8.01	300,000	13.63	2,200,650	8.14
19	繰入金	4,139,177	13.27	1,298,202	45.70	2,840,975	10.51
20	繰越金	300,000	0.96	0	0.00	300,000	1.11
21	諸収入	2,222,879	7.12	205,298	10.18	2,017,581	7.46
22	市債	2,288,400	7.33	1,058,100	86.00	1,230,300	4.55
	歳入合計	31,200,000	100.00	4,170,000	15.43	27,030,000	100.00

2) 歳出

(単位：千円)

款 別	年 度 区 分	2025年度				2024年度	
		当初予算額	構成比	比 較		当初予算額	構成比
		(A)	割合 (%)	(A)-(B)	伸率 (%)	(B)	割合 (%)
1	議 会 費	214,679	0.69	△ 3,302	△ 1.51	217,981	0.81
2	総 務 費	5,898,238	18.90	1,056,220	21.81	4,842,018	17.91
3	民 生 費	9,301,085	29.81	1,076,596	13.09	8,224,489	30.43
4	衛 生 費	1,861,068	5.96	148,900	8.70	1,712,168	6.33
5	労 働 費	193,058	0.62	△ 16,066	△ 7.68	209,124	0.77
6	農 林 水 産 業 費	608,125	1.95	55,306	10.00	552,819	2.05
7	商 工 費	1,978,409	6.34	416,888	26.70	1,561,521	5.78
8	土 木 費	3,277,504	10.50	8,241	0.25	3,269,263	12.09
9	消 防 費	1,408,120	4.51	439,065	45.31	969,055	3.59
10	教 育 費	4,012,848	12.86	806,212	25.14	3,206,636	11.86
11	公 債 費	2,426,866	7.78	181,940	8.10	2,244,926	8.31
12	予 備 費	20,000	0.06	0	0.00	20,000	0.07
	歳 出 合 計	31,200,000	100.00	4,170,000	15.43	27,030,000	100.00

(4) 一般会計性質別歳出予算比較表

(単位：千円)

年度 区分 性質別		2025年度			2024年度		
		当初予算額	構成比 (%)	伸率 (%)	当初予算額	構成比 (%)	伸率 (%)
義務的 経費	人件費	5,462,301	17.51	5.96	5,155,025	19.07	7.58
	扶助費	4,678,098	14.99	13.51	4,121,387	15.25	7.18
	公債費	2,426,866	7.78	8.10	2,244,926	8.31	11.28
	小計	12,567,265	40.28	9.08	11,521,338	42.62	8.14
投資的 経費	普通建設事業費	4,185,019	13.41	60.61	2,605,752	9.64	△ 26.06
	補助事業費	602,074	1.93	△ 35.33	931,008	3.44	△ 2.90
	単独事業費	3,531,962	11.32	116.58	1,630,762	6.03	△ 35.39
	その他	50,983	0.16	15.92	43,982	0.16	6.19
	災害復旧事業費	0	0.00	—	0	0.00	—
	小計	4,185,019	13.41	60.61	2,605,752	9.64	△ 26.06
その 他の 経費	物件費	4,945,660	15.85	14.80	4,307,960	15.94	1.24
	維持補修費	387,032	1.24	8.33	357,263	1.32	11.12
	補助費等	3,805,828	12.20	9.63	3,471,559	12.84	4.01
	積立金	2,258,871	7.24	28.80	1,753,771	6.49	36.15
	投資及び出資金	0	0.00	—	3,091	0.01	△ 66.84
	貸付金	1,134,713	3.64	0.12	1,133,338	4.19	△ 0.03
	繰出金	1,895,612	6.08	2.14	1,855,928	6.87	1.09
	予備費	20,000	0.06	0.00	20,000	0.07	0.00
	小計	14,447,716	46.31	11.97	12,902,910	47.74	5.75
合計	31,200,000	100.00	15.43	27,030,000	100.00	2.46	

2 職員、組織構成

(1) 須坂市職員定数

(2025年4月1日現在)

区 分	条 例 定 数
1. 市長の事務部局の職員	310人
2. 議会の事務部局の職員	8人(兼1人)
3. 選挙管理委員会の事務部局の職員	5人(兼2人)
4. 監査委員の事務部局の職員	4人(兼3人)
5. 農業委員の事務部局の職員	5人(兼1人)
6. 教育委員会の事務部局の職員	125人
7. 消防機関の職員	120人
8. 公営企業の職員	30人
9. 公平委員会の事務部局の職員	3人(兼3人)
10. 固定資産評価審査委員会の事務部局の職員	4人(兼4人)
総 計	614人(兼14人)

※須坂市職員定数条例(昭和46年4月30日施行)

(2) 市の職員数

(2025年4月1日現在)

総 数	市 長 部 局	議 会 事 務 局	選 管 事 務 局	監 査 事 務 局	農 委 事 務 局	教 育 委 員 会	消 防 本 部	公 営 企 業	公平委員会 事 務 部 局	固定資産 評価審査 委員会 事 務 部 局
519 (12)	273	6 (1)	4 (2)	3 (2)	3	105	97	21	3 (3)	4 (4)

任期付職員を含む。

() は兼務

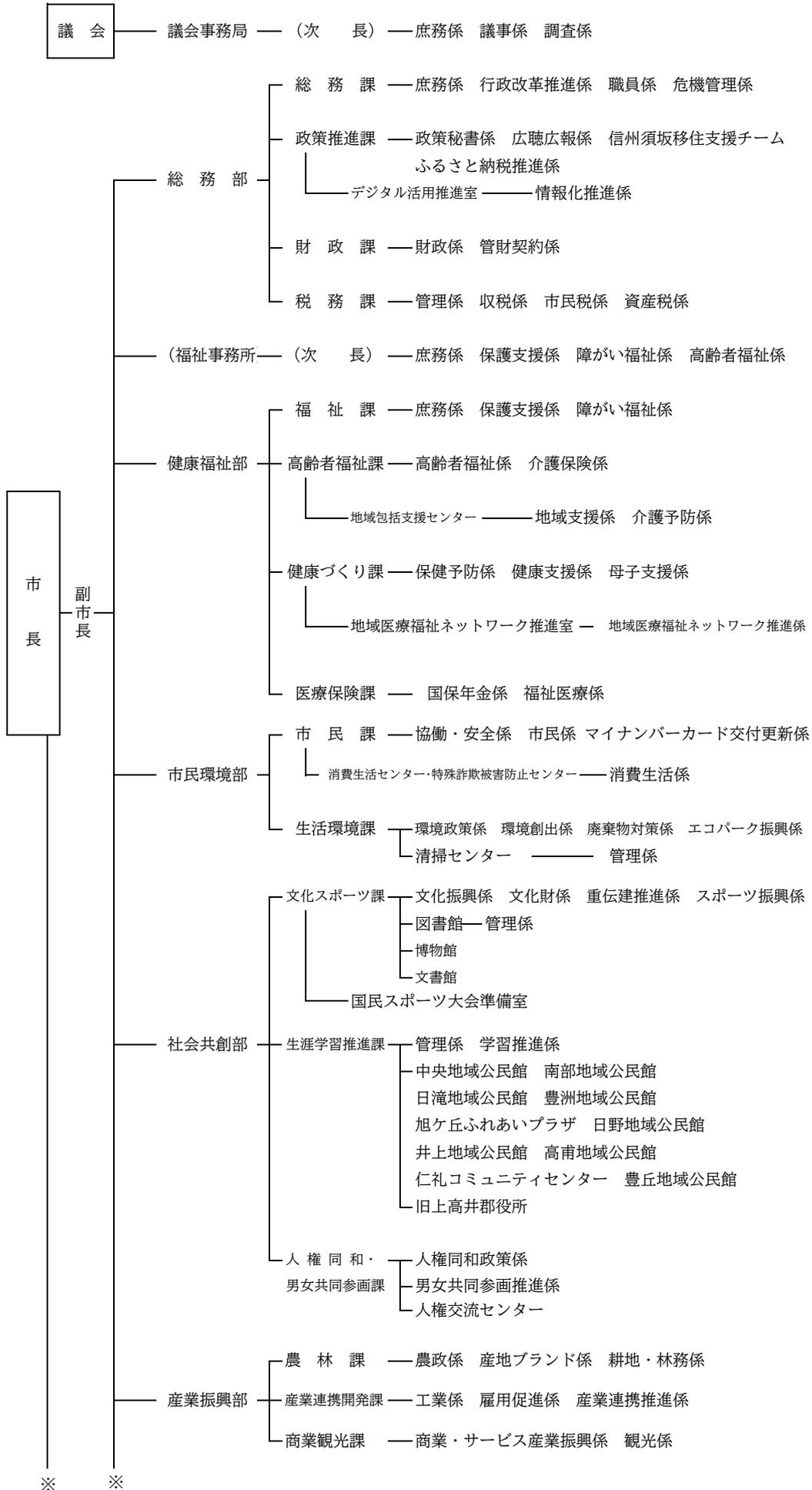
(3) 職員平均年齢及び平均給料月額等

(2025年1月1日現在)

区 分	平均年齢(歳)	平均給料月額(円)	平均給与月額(円)
一般行政職	43.26(0.61)	335,679(5,443)	382,908(1,464)
福祉職	38.96(0.20)	309,412(5,771)	350,585(8,355)
消防職	41.88(0.11)	326,884(3,065)	379,488(Δ1,051)

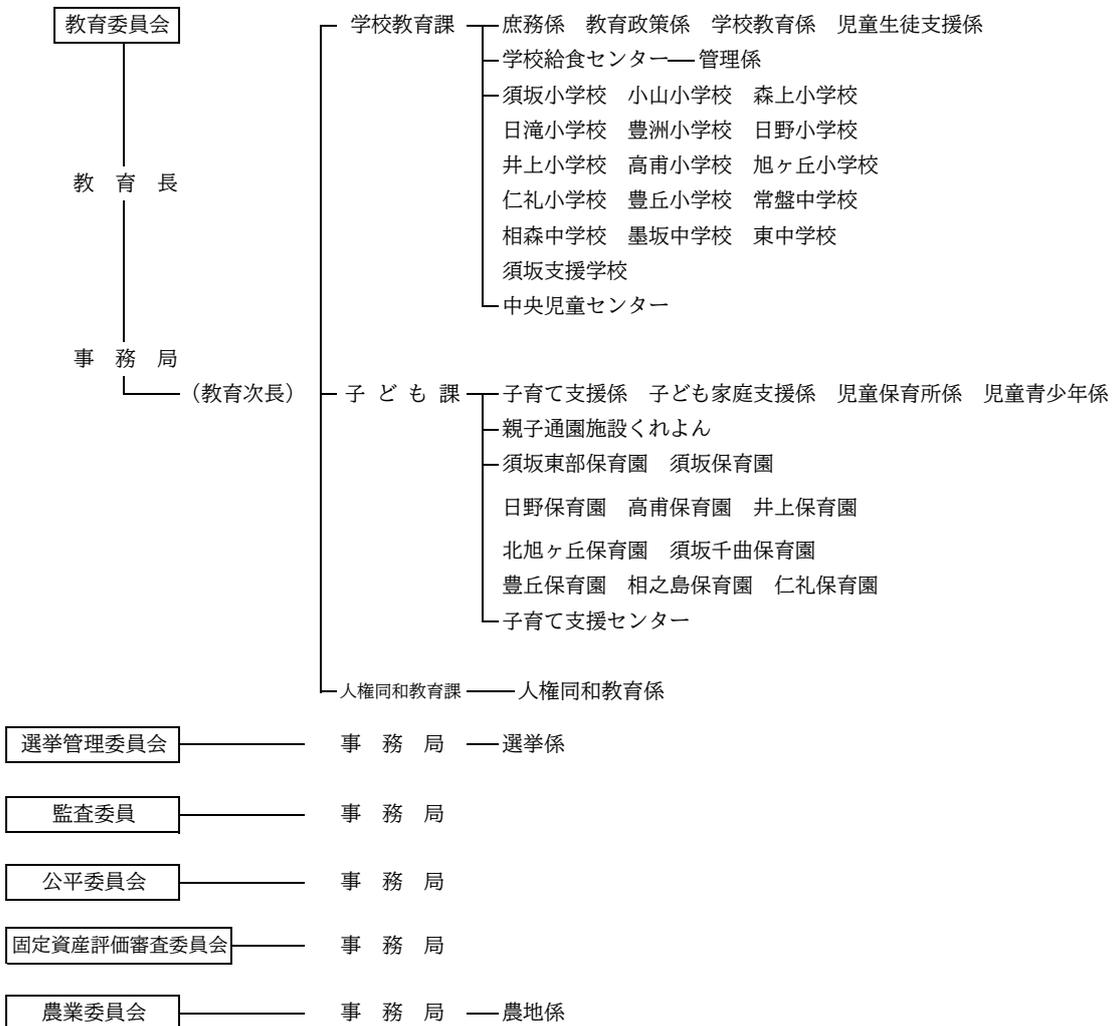
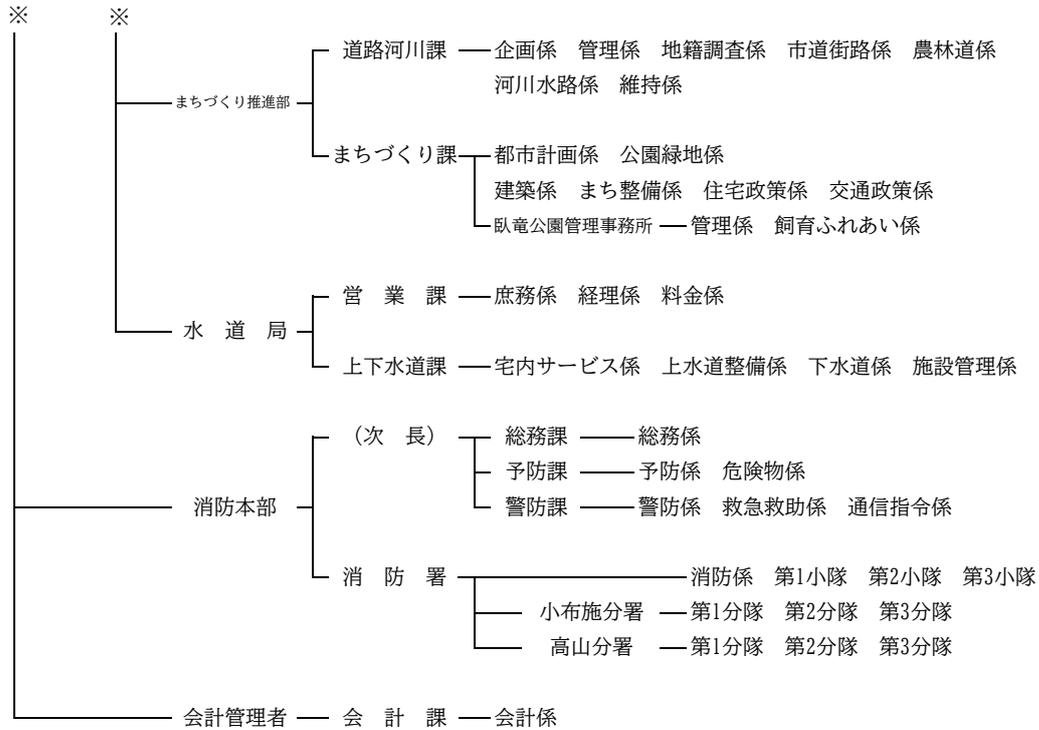
() 前年対比

(4) 須坂市組織・機構図 (2025. 4. 1現在)



※

※



注：社会共創部文化スポーツ課の分掌事務のうち文化財保護に関する事務及び学校体育施設の開放に関する事務並びに生涯学習推進課の分掌事務のうち公民館に関する事務及び社会教育に関する事務は、教育委員会の権限に属する事務で、地方自治法第180条の7の規定により市長の補助機関の職員がその事務を補助執行するものである。

(5) 須坂市の主な公共施設、関係機関 (市外局番026)

(2025年4月1日現在)

施設名	所在地	電話	施設名	所在地	電話
市 機 関			須坂市市民体育館	常盤町	245-0466
須坂市役所	東横町	245-1400	須坂市北部体育館	高畑町	248-5600
須坂市消防本部	屋部町	245-0119	須坂勤労青少年体育センター	南原町	248-2020
須坂市技術情報センター	井上町	251-2255	臥竜公園庭球場	南原町	248-1912
須坂市保健センター	立 町	248-9023	峰の原高原クロスカントリーコース	峰の原高原	245-9441
地域医療福祉ネットワーク推進室	立 町	248-9101	須坂市清掃センター	米子町	246-9000
須坂市地域包括支援センター	東横町	245-4566	塩野浄水場	塩野町	245-1402
須坂市中央児童センター	馬場町	245-5010	須坂市ふれあい健康センター (湯蔵蔵んど)	仁礼町	248-6868
須坂市南部児童センター	屋部町	248-2330	須坂市賑にぎわい創出拠点 やまじゅう	上中町	405-2740
須坂市東部児童センター	高橋町	246-0079	須坂市豊洲防災コミュニティセンター	北相之島町	246-4264
須坂市北部児童センター	北旭ヶ丘町	248-8381	一部事務組合・関係機関等		
親子通園施設くれよん	馬場町	246-8527	須坂市福祉会館	馬場町	246-8759
須坂市子育て就労総合支援センターbota	北横町	246-1222	須坂市社会福祉協議会	春木町	245-1619
子育て支援センター		245-6588	須坂市福祉ボランティアセンター	春木町	248-5606
須坂市学校給食センター	仁礼町	246-2104	須坂市老人福祉センター永楽荘	本郷町	246-1746
須坂市人権交流センター	屋部町	245-0909	須坂市老人福祉センターくつろぎ荘	仁礼町	246-2058
須坂市シルキーホール	北横町	215-2225	ぶどうの家	大谷町	248-9370
須坂市勤労者研修センター	八幡町	245-0134	デイサービスセンターぬくもり園	村石町	246-8462
須坂市勤労青少年ホーム創造の家	南原町	248-0393	デイサービスセンターことぶき	村石町	246-9822
ふれあい館まゆぐら	東横町	248-6225	デイサービスセンターすえひろ	馬場町	246-6191
生涯学習センター	常盤町	245-1598	須坂ひだまり作業所	春木町	248-2194
中央地域公民館	常盤町	214-6086	特別養護老人ホーム須坂荘	塩野町	248-0839
南部地域公民館、臥竜山公会堂	小山町	245-0273	居宅介護支援事業所須坂荘	塩野町	242-5440
日滝地域公民館	大谷町	248-1686	須高休日緊急診療室	立 町	245-1650
豊洲地域公民館	小島町	246-3232	(地方独立行政法人長野県立信州医療センター)		
旭ヶ丘ふれあいプラザ	北旭ヶ丘町	246-3783	須高行政事務組合	境沢町	245-1173
日野地域公民館	塩川町	246-2274	松川苑(斎場)	本郷町	245-2268
井上地域公民館	幸高町	246-2488	広域総合プール(サマーランド)	本郷町	246-0155
高甫地域公民館	上八町	248-1925	須高広域シルバー人材センター	馬場町	246-2003
仁礼コミュニティセンター	仁礼町	245-8118	須坂市文化会館メセナホール	屋部町	245-1800
豊丘地域公民館	豊丘上町	245-9768	須坂クラシック美術館	東横町	246-6474
須坂市旧上高井郡役所	常盤町	245-5559	須坂版画美術館	村石町	248-6633
市立須坂図書館	常盤町	245-0784	世界の民俗人形博物館	野辺町	245-2340
須坂市立博物館	小山町	245-0407	旧小田切家住宅	中 町	246-2220
須坂市笠鉾会館ドリームホール	横 町	246-7100	須坂市土地開発公社	東横町	248-9006
須坂市文書館	常盤町	285-9041	蔵のまち観光交流センター くらっと	東横町	248-6867
須坂市動物園	小山町	245-1770			

(6) 歴代市三役

○歴代市長

氏名	期 間
上原吉之助	昭和29.4.1 ~ 昭和33.3.12
田中邦治	昭和33.3.13 ~ 昭和34.12.16
山際 順	昭和35.1.24 ~ 昭和43.1.23
松沢令之助	昭和43.1.24 ~ 昭和51.1.23
山際 順	昭和51.1.24 ~ 昭和59.1.23
田中太郎	昭和59.1.24 ~ 平成4.1.23
永井順裕	平成4.1.24 ~ 平成16.1.23
三木正夫	平成16.1.24 ~ 在 職 中

○歴代助役

氏名	期 間
川股相吉	昭和29.4.1 ~ 昭和33.3.29
北村雅雄	昭和29.4.1 ~ 昭和29.12.31
永戸朋納	昭和29.4.1 ~ 昭和29.12.31
山際 順	昭和33.5.1 ~ 昭和35.1.8
滝沢歳次	昭和35.5.2 ~ 昭和40.4.30
伊藤政吉	昭和40.7.1 ~ 昭和43.6.30
仁科 茂	昭和43.7.1 ~ 昭和51.1.23
石井健治郎	昭和51.4.1 ~ 昭和59.3.31
小林芳男	昭和59.4.1 ~ 平成4.3.31
山崎康信	平成4.4.1 ~ 平成12.3.31
吉池 武	平成12.4.1 ~ 平成16.3.31
井上忠恵	平成16.4.1 ~ 平成19.3.31

○歴代副市長

氏名	期 間
井上忠恵	平成19.4.1 ~ 平成24.3.31
中澤正直	平成24.4.1 ~ 在 職 中

○歴代収入役（平成20年3月31日をもって廃止）

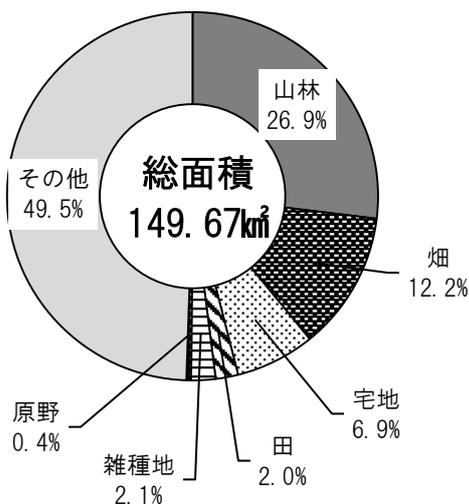
氏名	期 間
小田切善三郎	昭和29.4.1 ~ 昭和35.9.30
梅本 儀	昭和35.10.1 ~ 昭和43.6.30
尾川七郎	昭和43.7.1 ~ 昭和47.4.1
青木卓司	昭和47.4.2 ~ 昭和51.4.1
竹内久雄	昭和51.4.2 ~ 昭和59.4.1
青木光雄	昭和59.4.2 ~ 平成4.3.31
松沢喜助	平成4.4.1 ~ 平成12.3.31
三上裕通	平成12.4.1 ~ 平成16.3.31
山崎秀夫	平成16.4.1 ~ 平成20.3.31

IV 資料

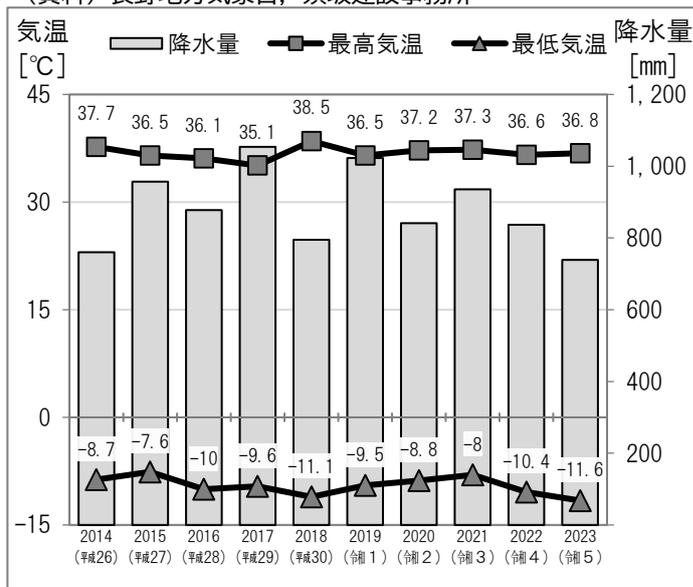
グラフで見る須坂市

1 土地・気候

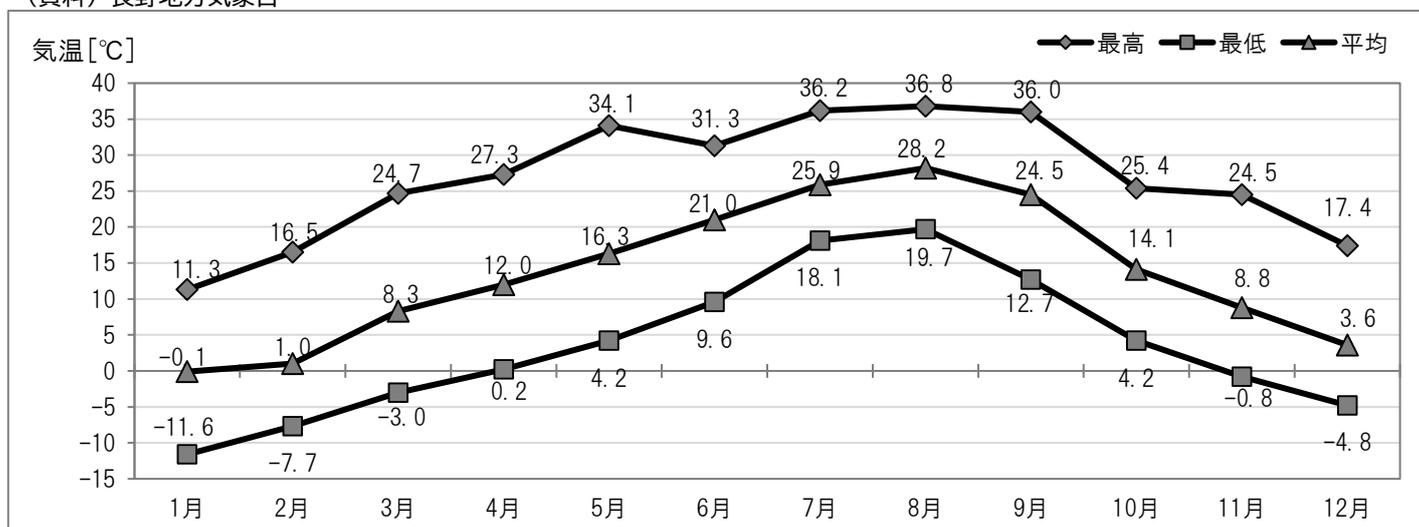
■土地面積の割合（2024年(令和6年)1月1日現在）
（資料）税務課



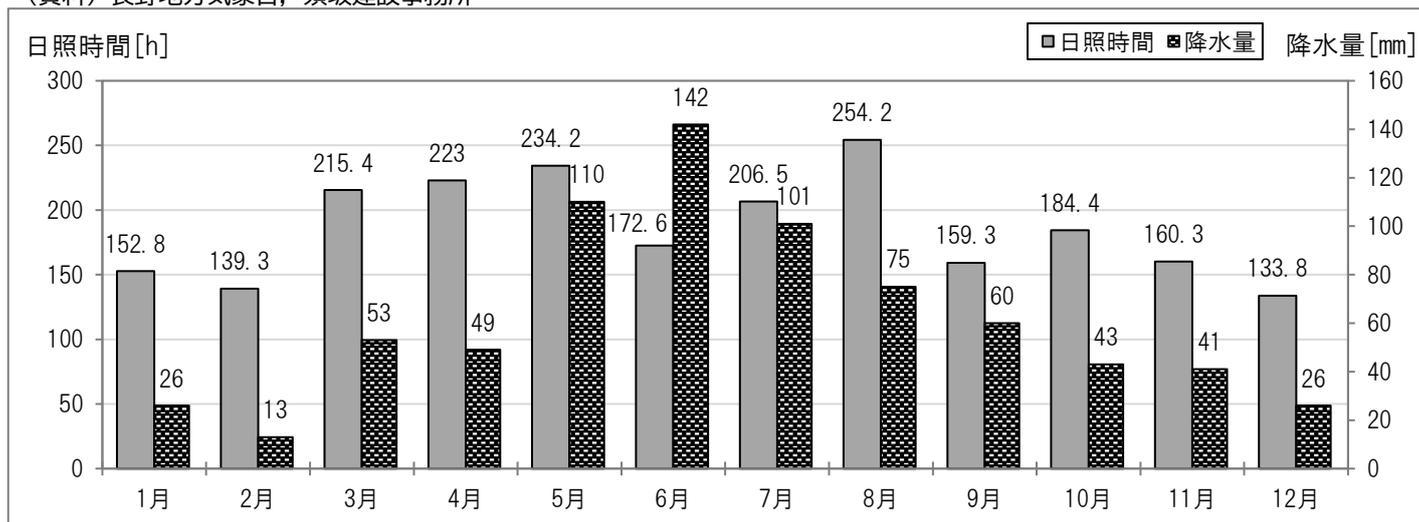
■気温（最高・最低）と降水量の推移
（資料）長野地方気象台，須坂建設事務所



■気温(最高・最低・平均)の変化(2023年)
（資料）長野地方気象台



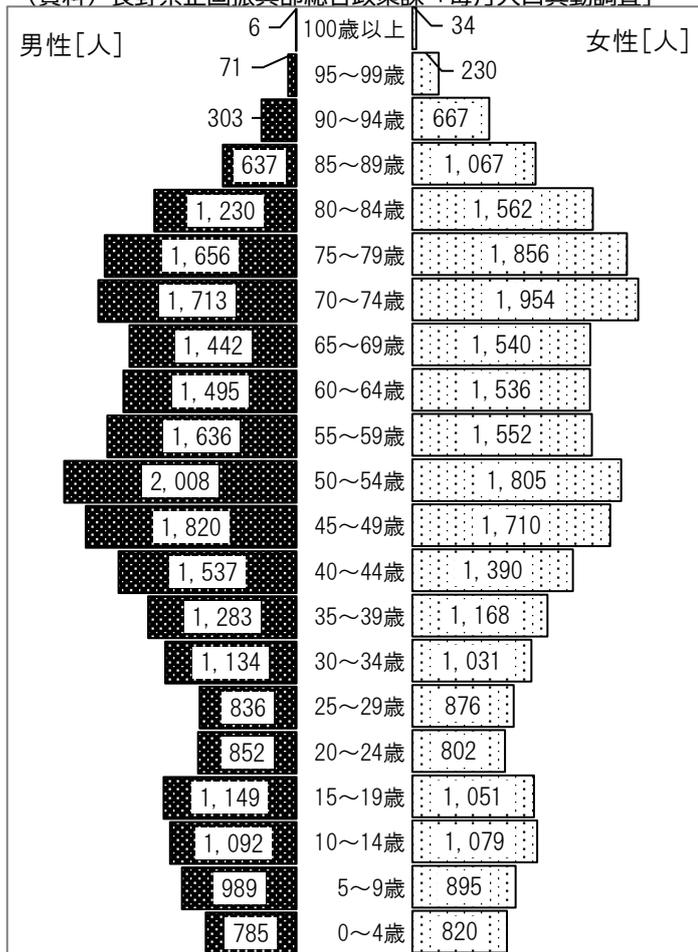
■降水量・日照時間の変化(2023年)
（資料）長野地方気象台，須坂建設事務所



2 人口・世帯

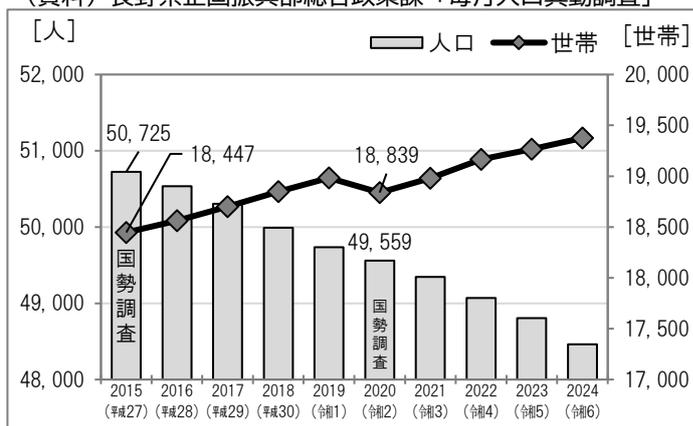
■年齢5歳階級別人口ピラミッド(2024年4月1日現在)

(資料) 長野県企画振興部総合政策課「毎月人口異動調査」



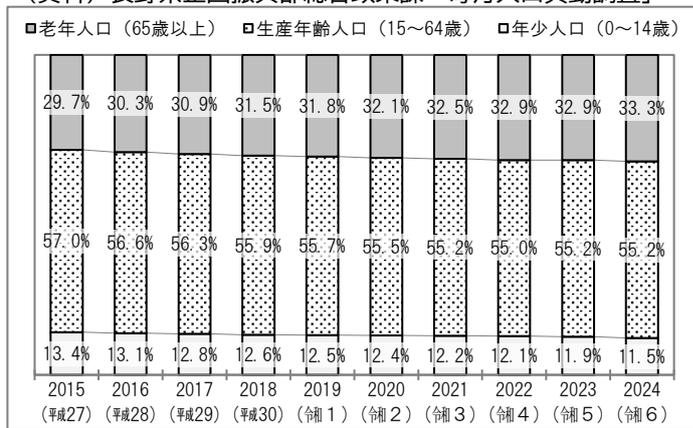
■人口と世帯数の推移

(資料) 長野県企画振興部総合政策課「毎月人口異動調査」



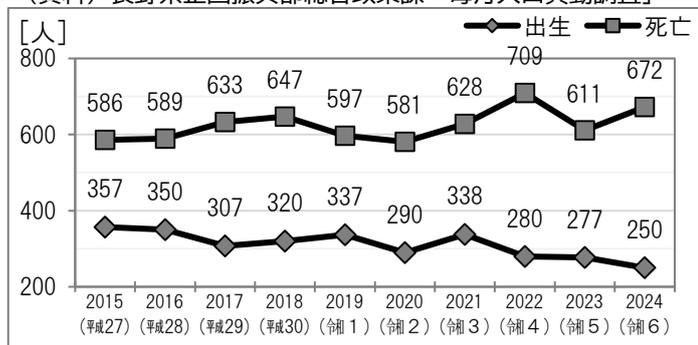
■年齢3区分別人口割合の推移

(資料) 長野県企画振興部総合政策課「毎月人口異動調査」



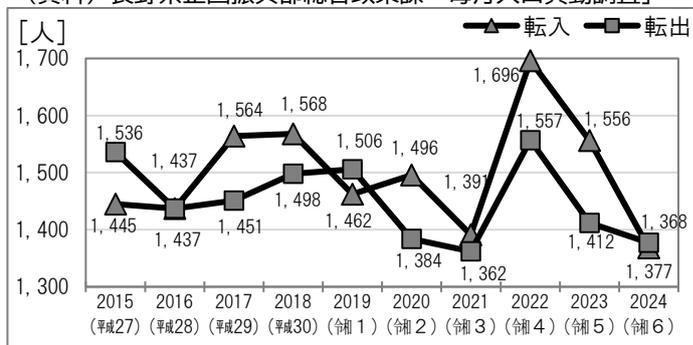
■出生数・死亡数の推移

(資料) 長野県企画振興部総合政策課「毎月人口異動調査」



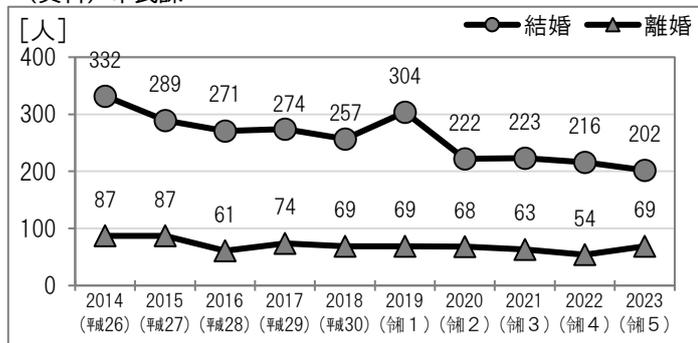
■転入数・転出数の推移

(資料) 長野県企画振興部総合政策課「毎月人口異動調査」



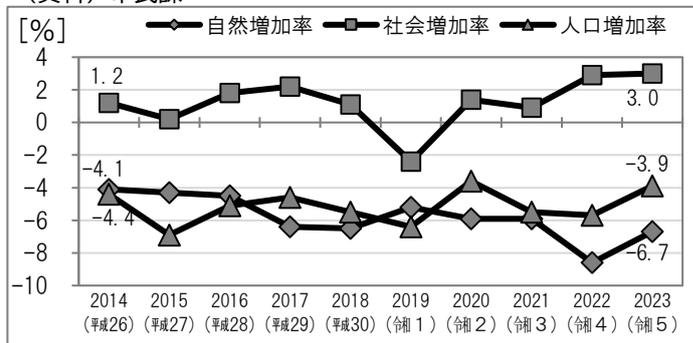
■婚姻数・離婚数の推移

(資料) 市民課



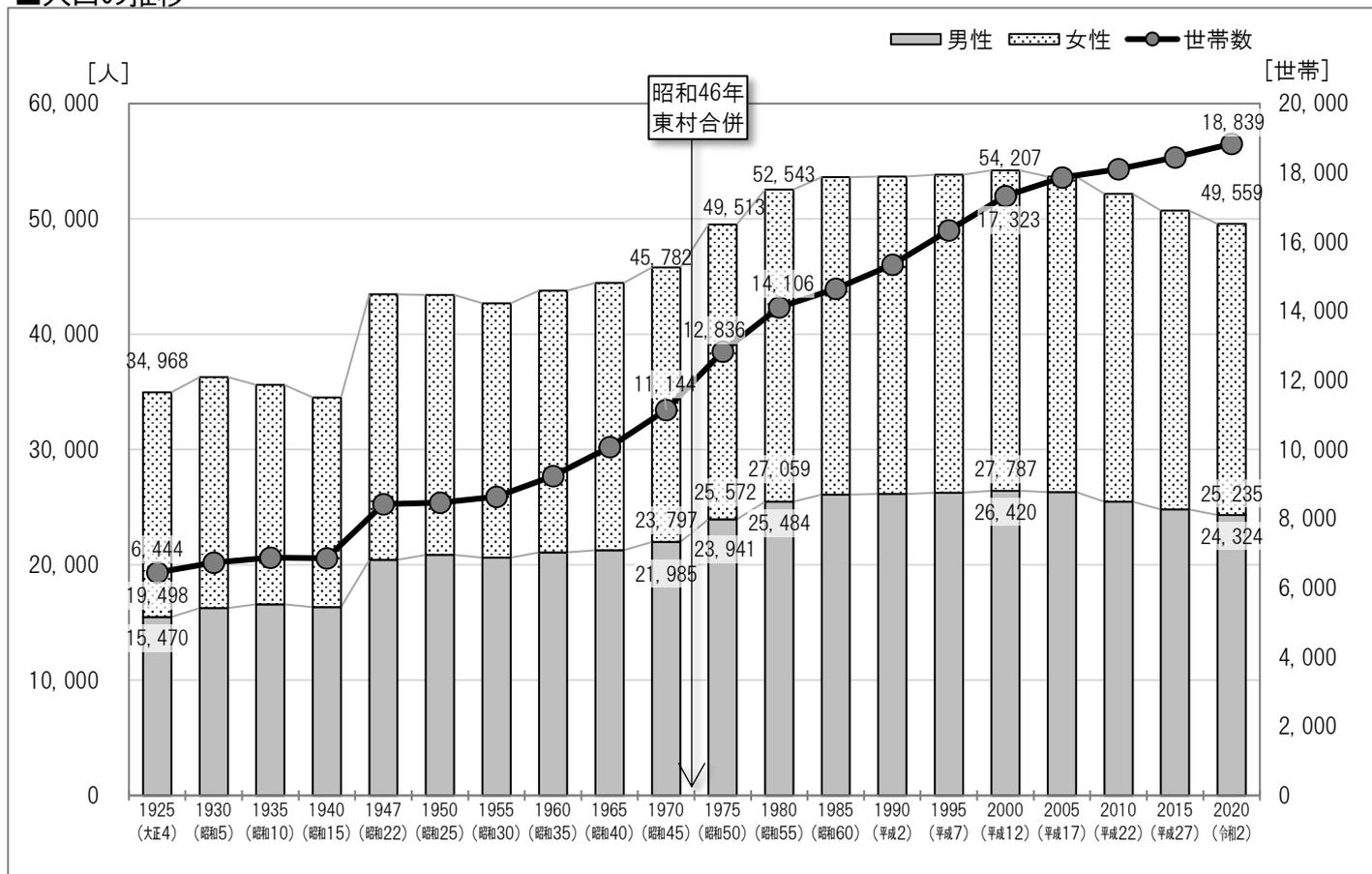
■自然増加率・社会増加率・人口増加率の推移

(資料) 市民課

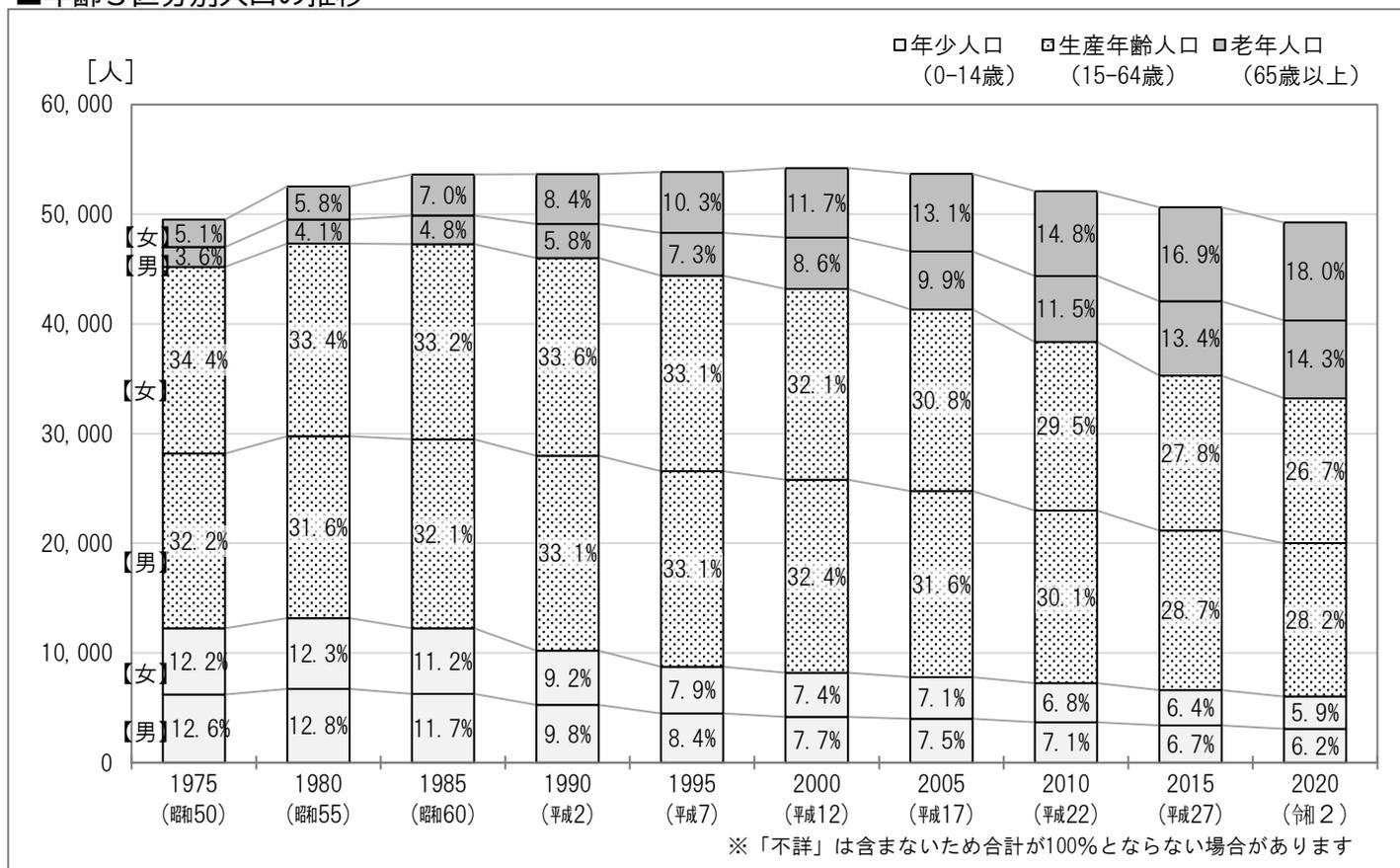


3 国勢調査

■人口の推移



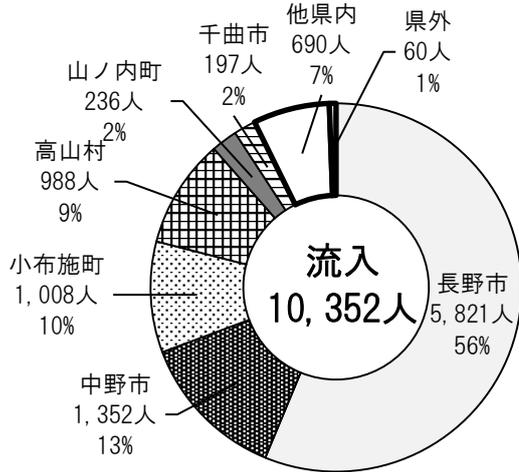
■年齢3区分別人口の推移



グラフで見る須坂市

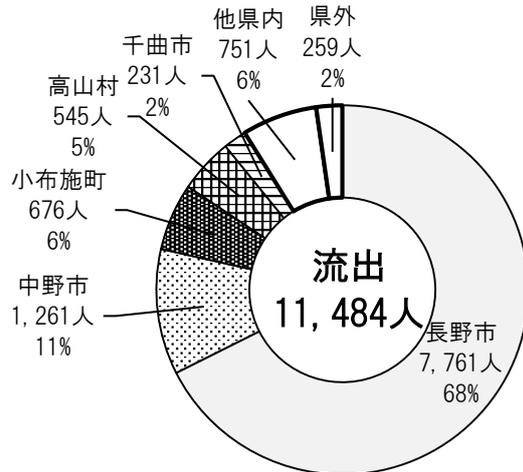
グラフで見る須坂市

(資料) 総務省「令和2年国勢調査」



流出人口内訳

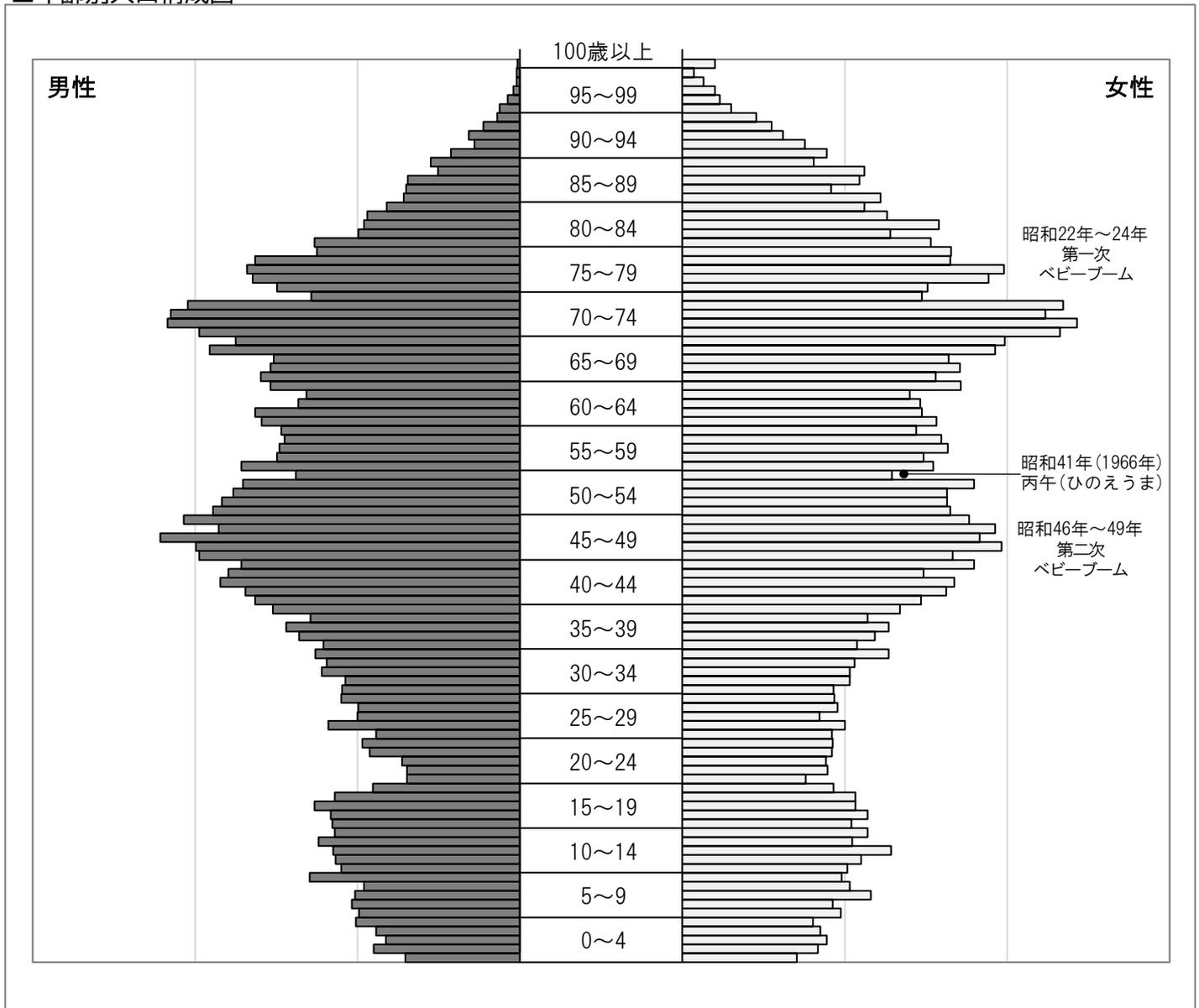
(資料) 総務省「令和2年国勢調査」



※ 流入人口とは、須坂市外に住んでいて須坂市に就業または通学している人の人口（15歳未満の通学者は除く）

※ 流出人口とは、須坂市に住んでいて須坂市外に就業または通学している人の人口（15歳未満の通学者は除く）

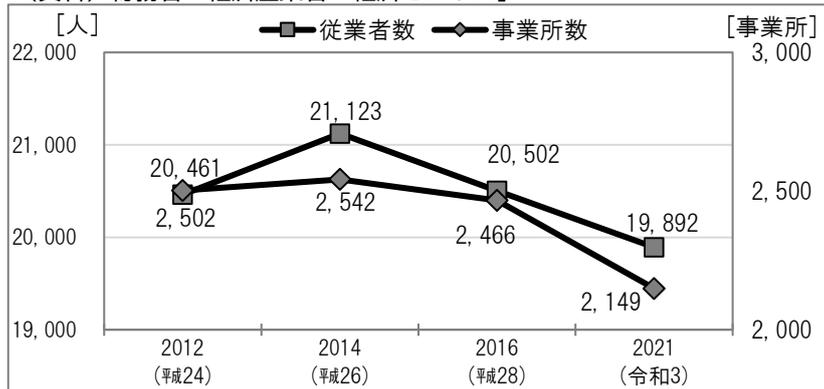
年齢別人口構成図



4 事業所

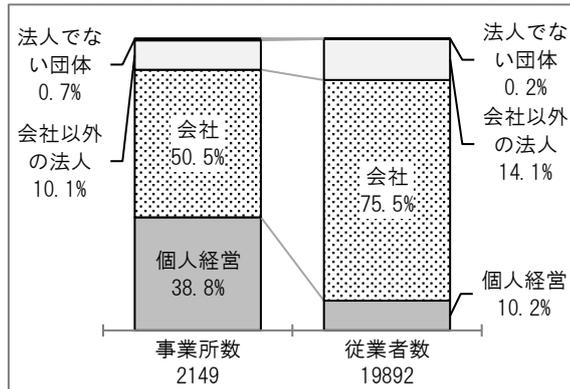
■事業所数・従業者数(民間)の推移

(資料) 総務省・経済産業省「経済センサス」



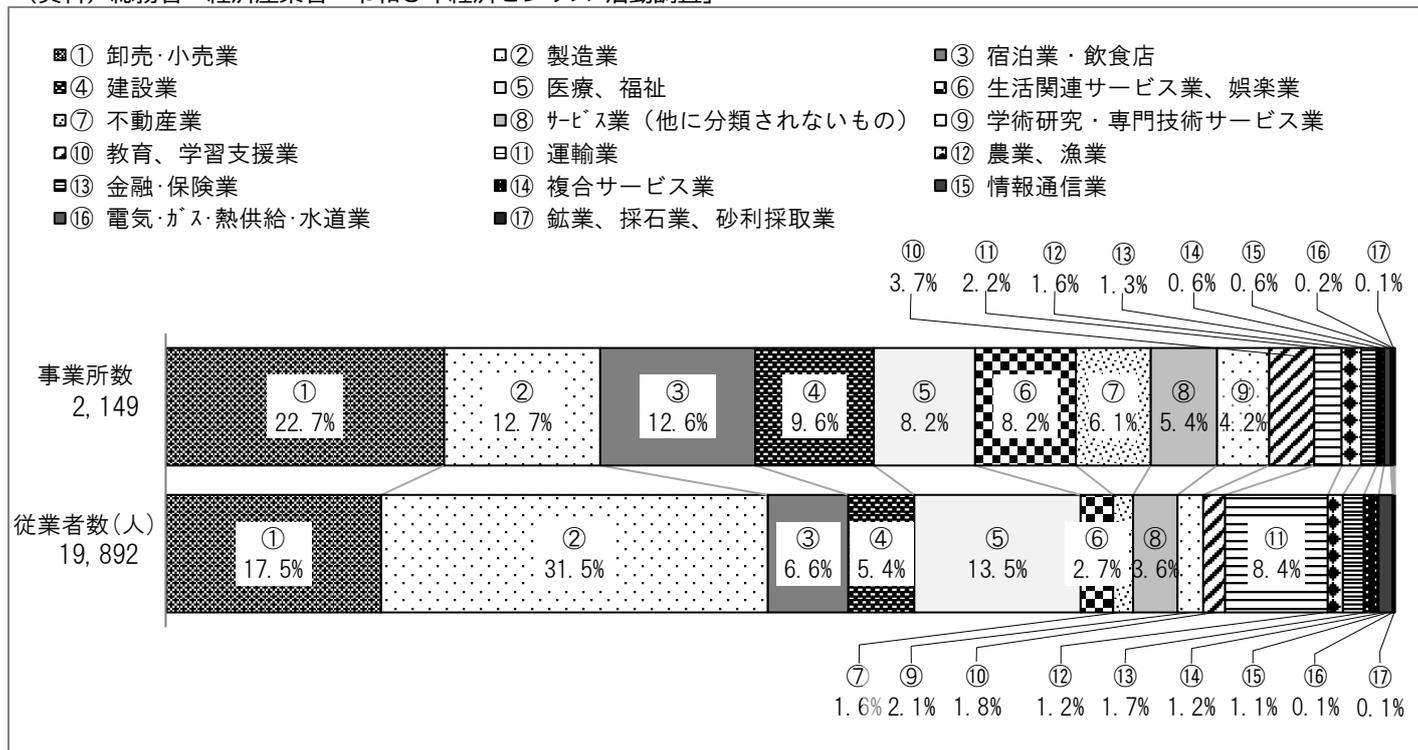
■経営組織別の事業所数・従業者数の構成比

(資料) 総務省・経済産業省「令和3年経済センサス-活動調査」



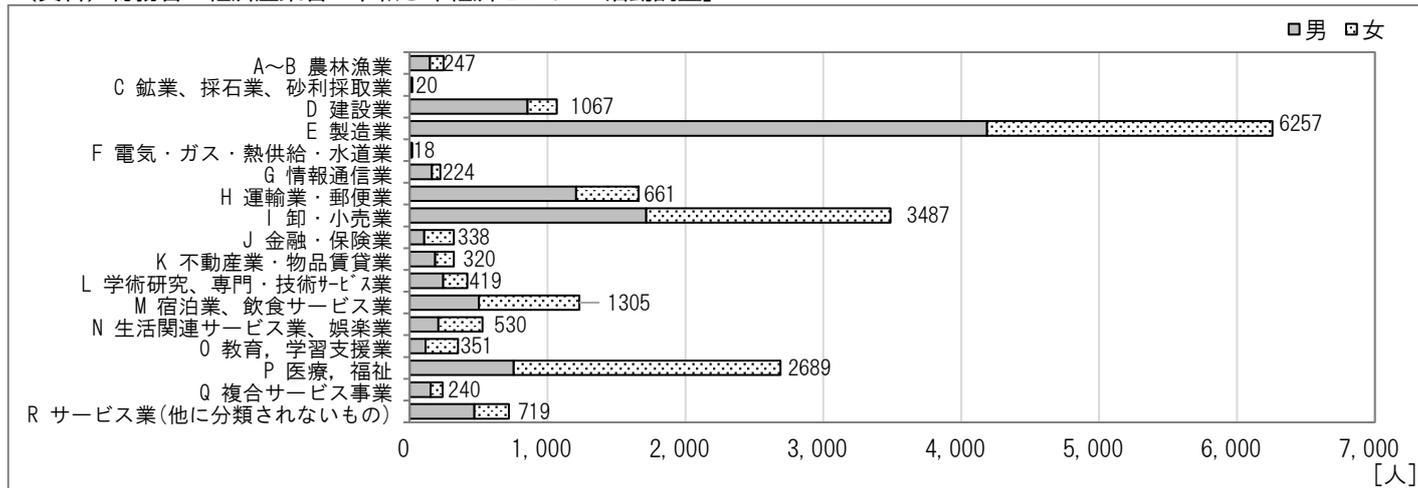
■産業別の事業所・従業者数の構成比

(資料) 総務省・経済産業省「令和3年経済センサス-活動調査」



■産業別の男女別従業者の構成比

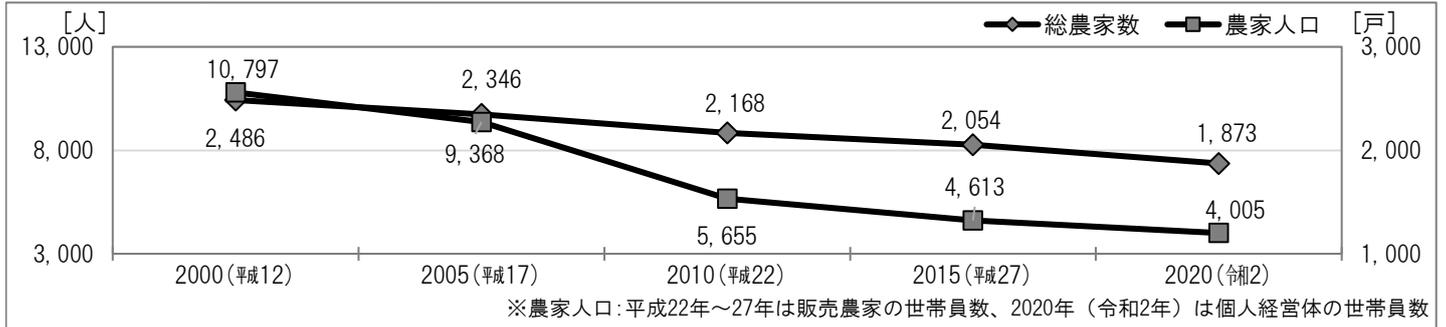
(資料) 総務省・経済産業省「令和3年経済センサス-活動調査」



5 農林業

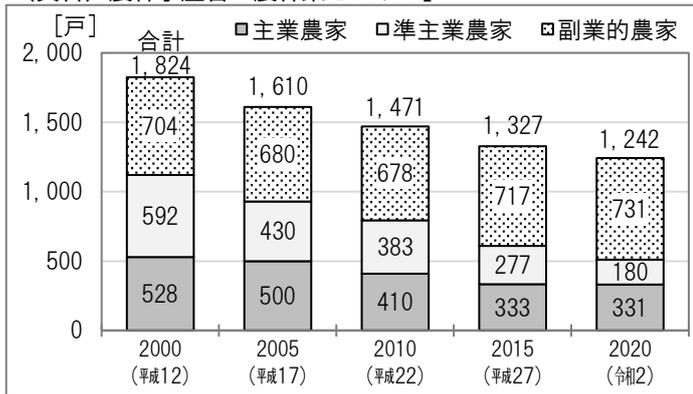
■農家数と農家人口の推移

(資料) 農林水産省「農林業センサス」



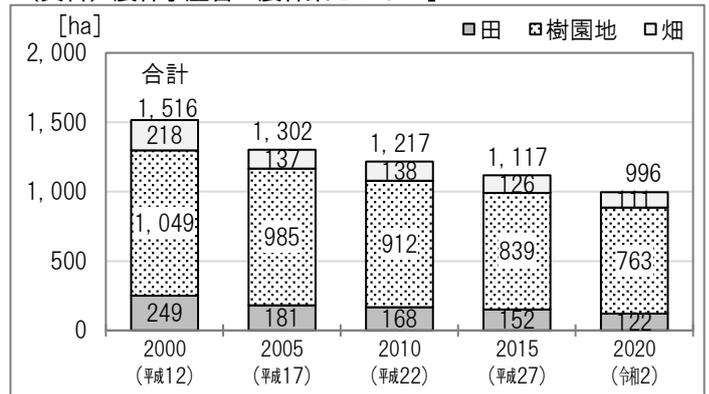
■主副業別農家数の推移

(資料) 農林水産省「農林業センサス」



■経営耕地面積の推移

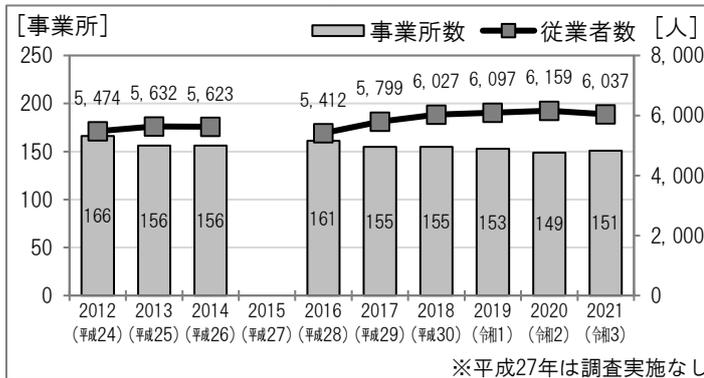
(資料) 農林水産省「農林業センサス」



6 工業

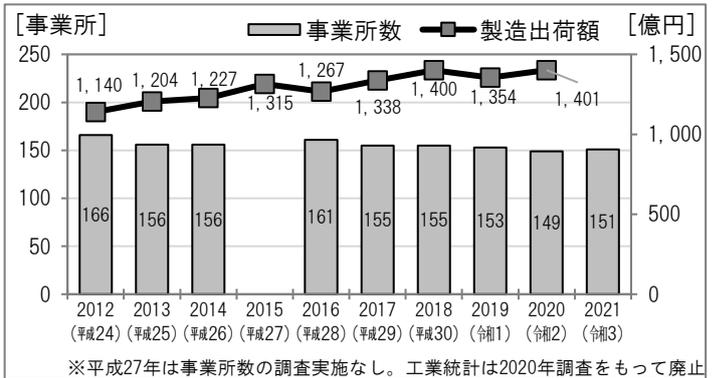
■事業所数・従業者数の推移

(資料) 経済産業省「工業統計調査」, 総務省・経済産業省「経済センサス」



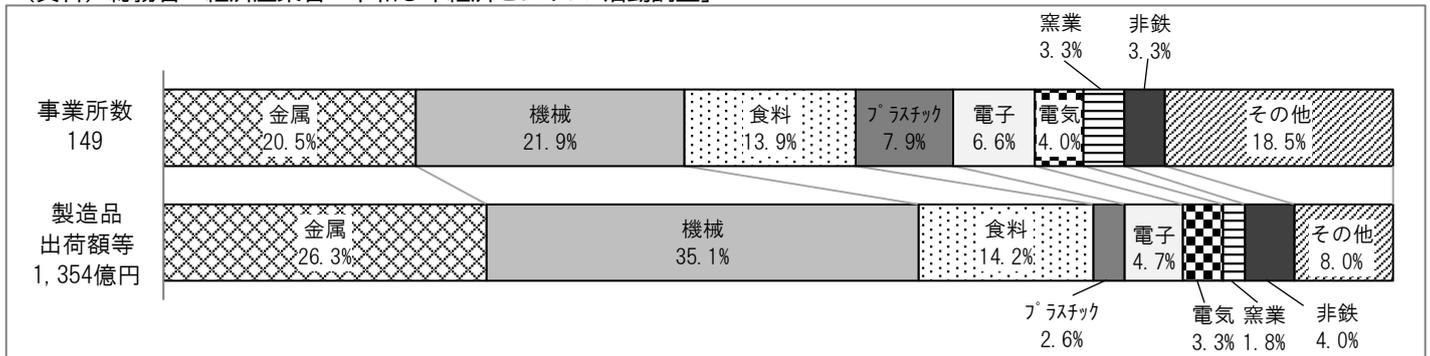
■事業所数・製造品出荷額の推移

(資料) 経済産業省「工業統計調査」, 総務省・経済産業省「経済センサス」



■産業別の事業所数・製造品出荷額の割合

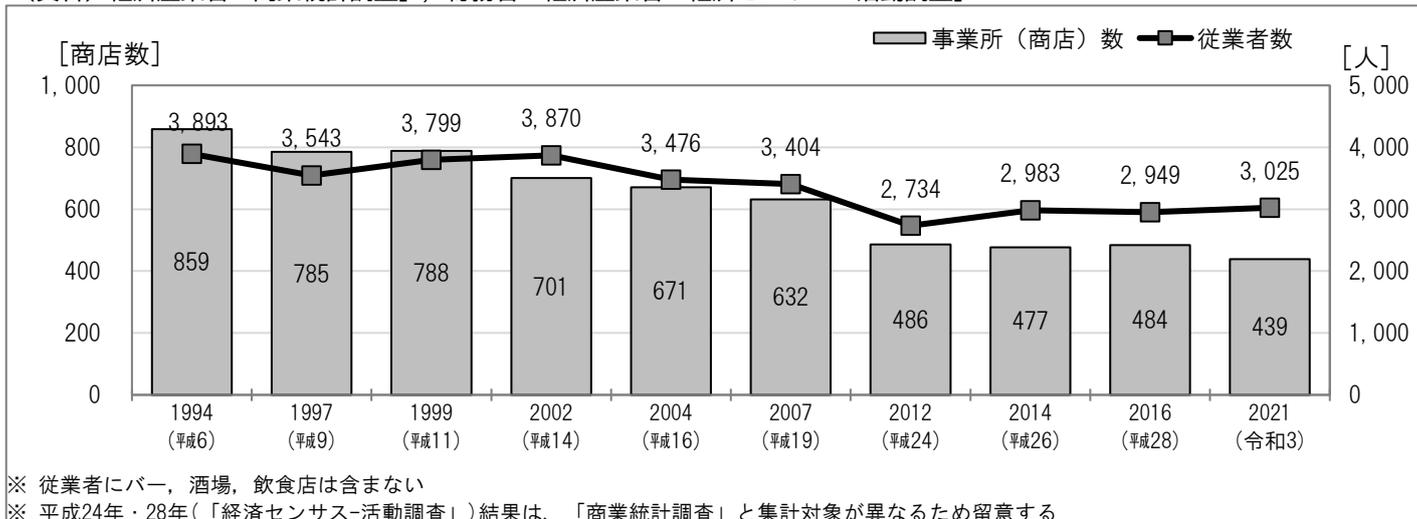
(資料) 総務省・経済産業省「令和3年経済センサス-活動調査」



7 商業

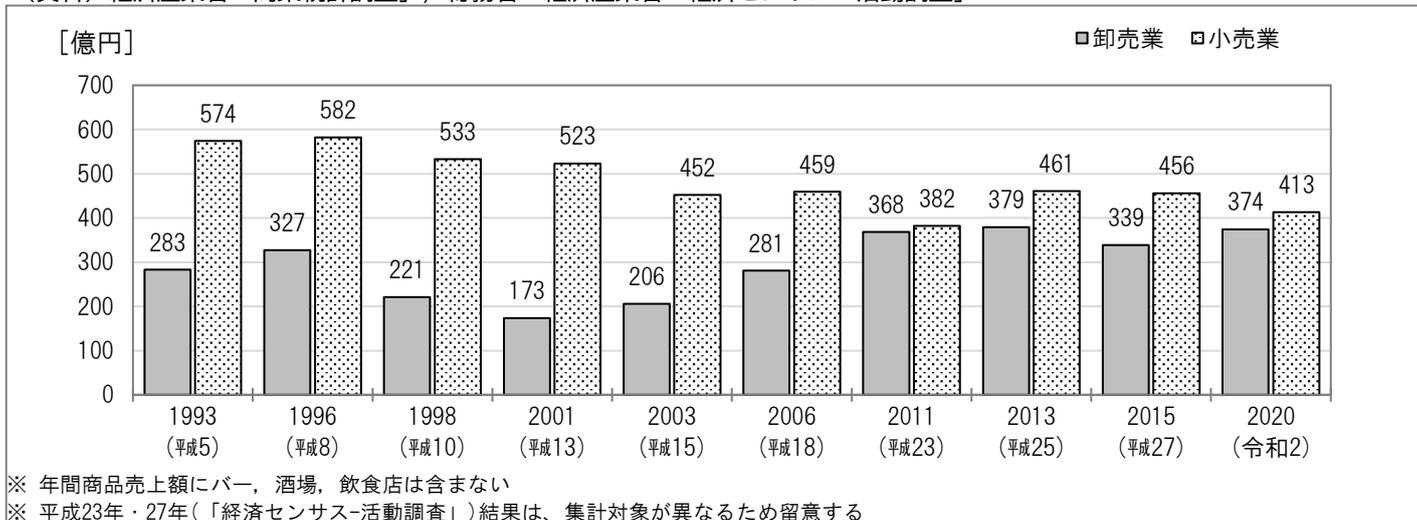
■商店数・従業者数の推移

(資料) 経済産業省「商業統計調査」, 総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」



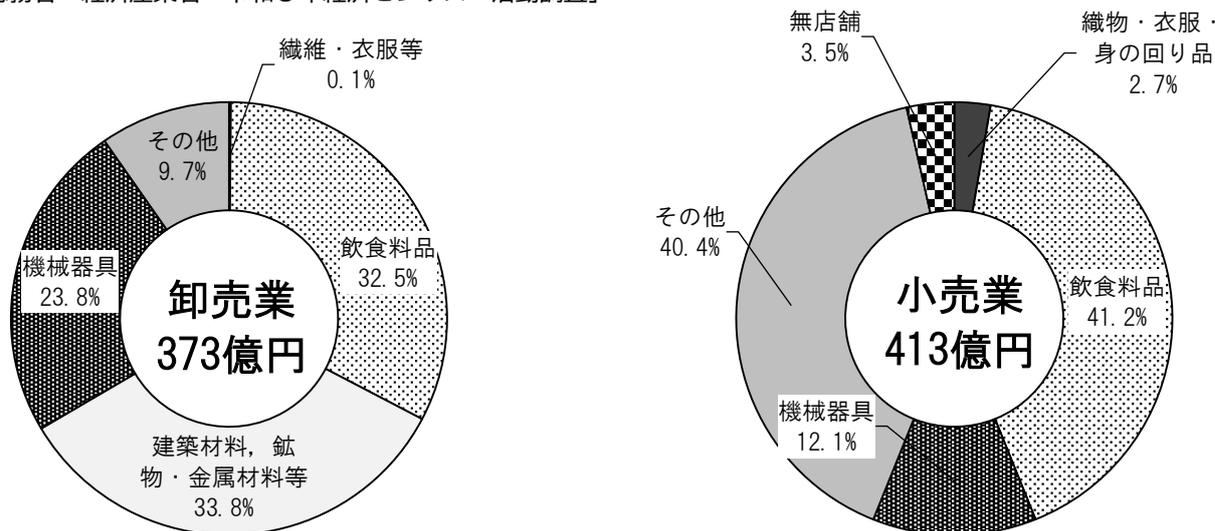
■年間商品販売額の推移

(資料) 経済産業省「商業統計調査」, 総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」



■業種別年間商品販売額の割合(2020年(令和2年中))

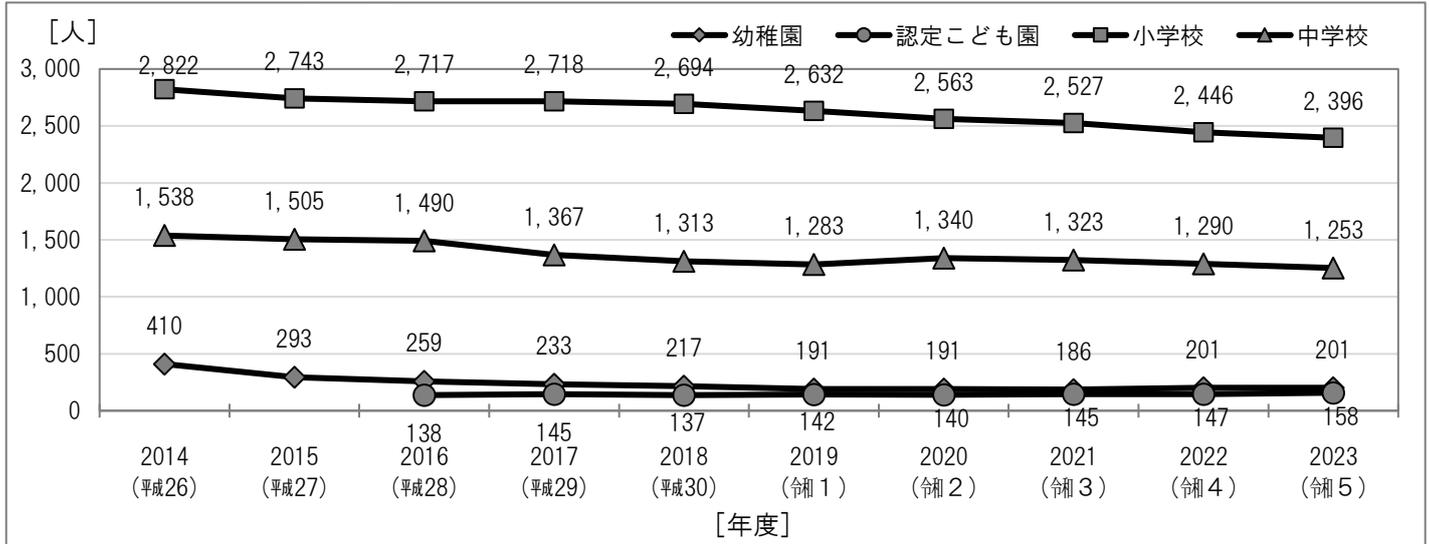
(資料) 総務省・経済産業省「令和3年経済センサス-活動調査」



8 教育・文化・観光

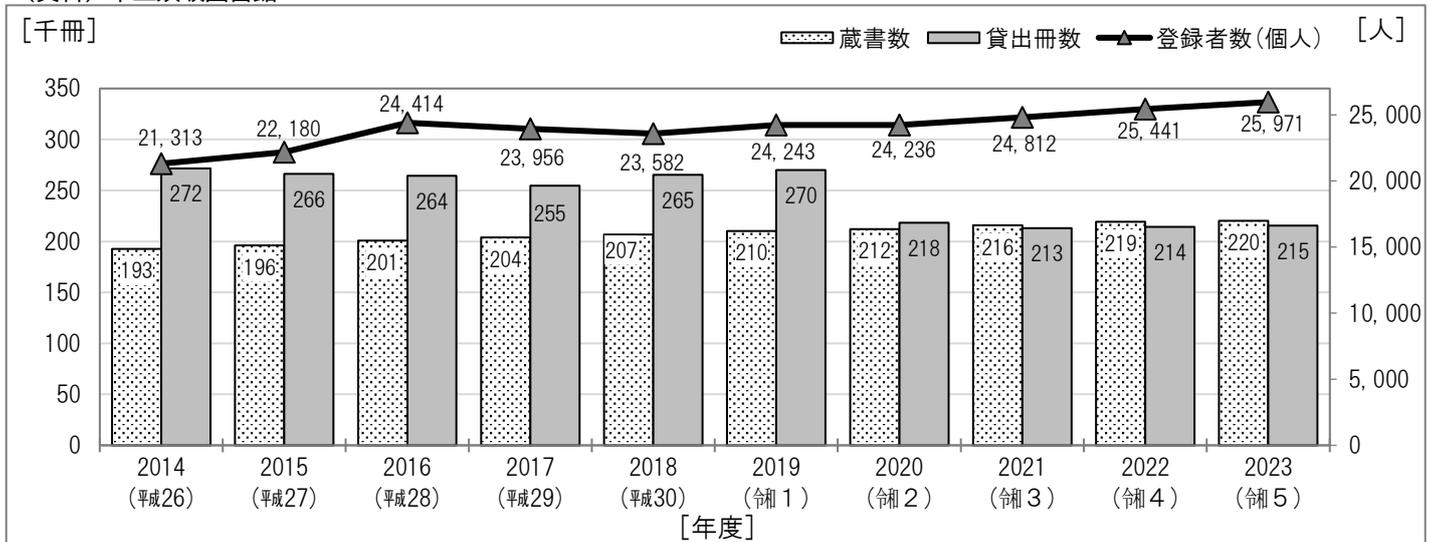
■在学者数の推移

(資料) 文部科学省「学校基本調査」



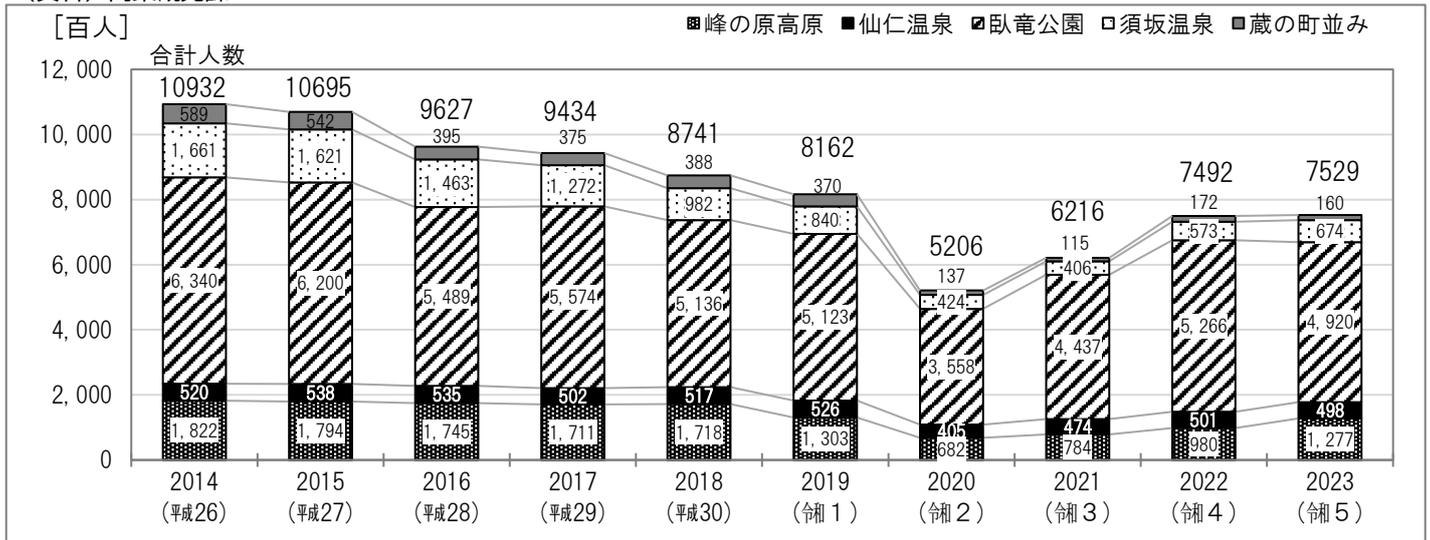
■市立図書館 蔵書数・貸出冊数の推移

(資料) 市立須坂図書館



■観光地利用者数

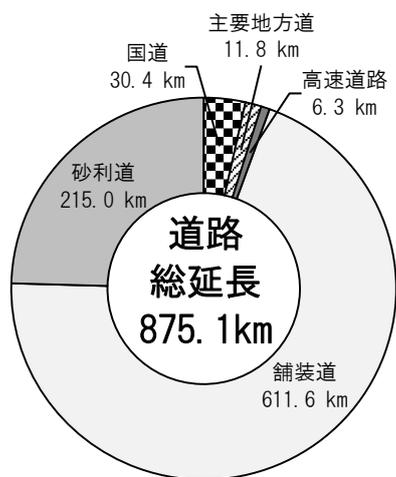
(資料) 商業観光課



9 建築・運輸・通信

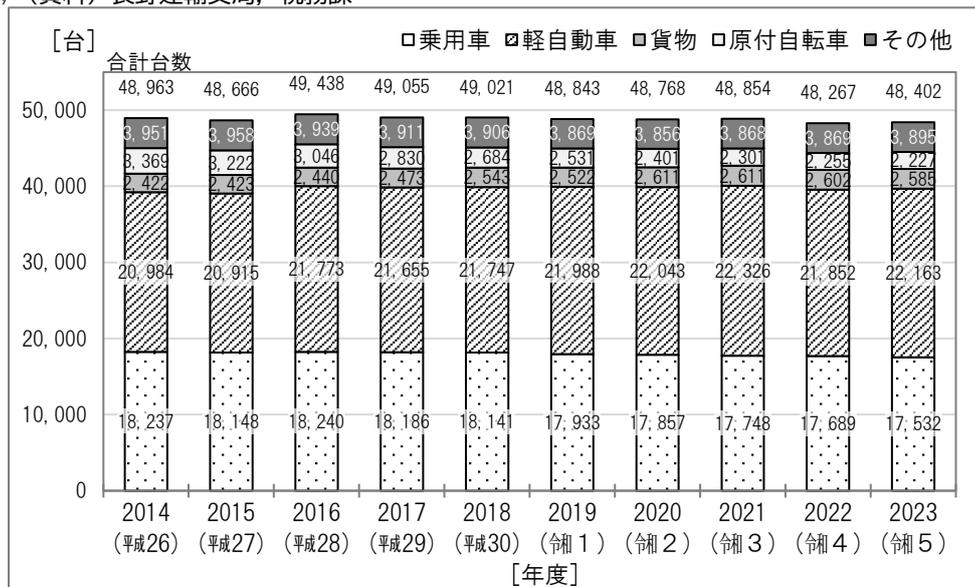
■道路の現状

(資料) 道路河川課, 東日本高速道路(株)



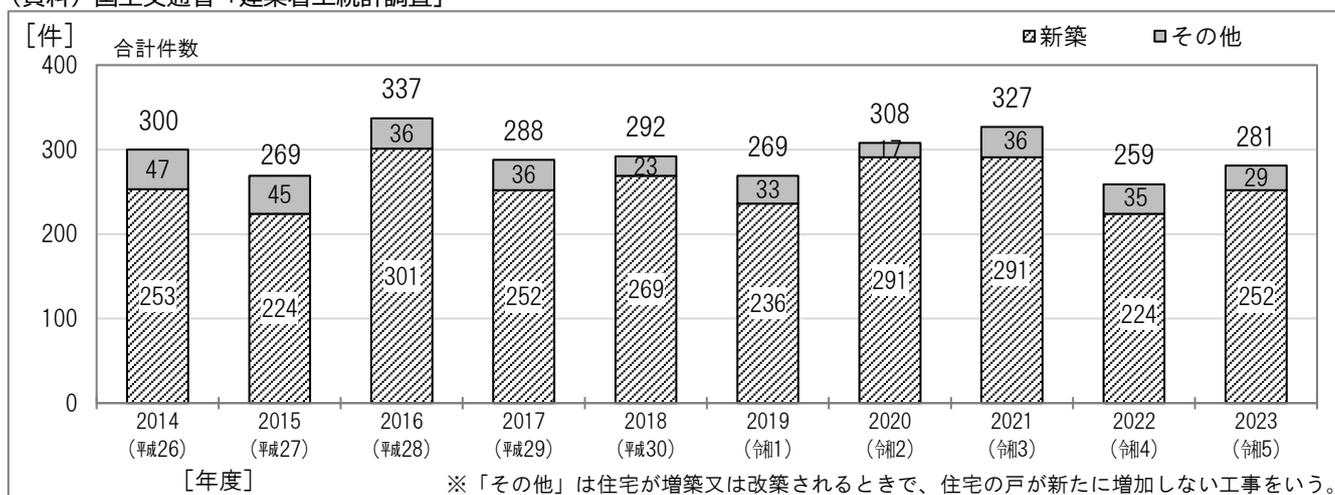
■自動車登録台数

(資料) 長野運輸支局, 税務課



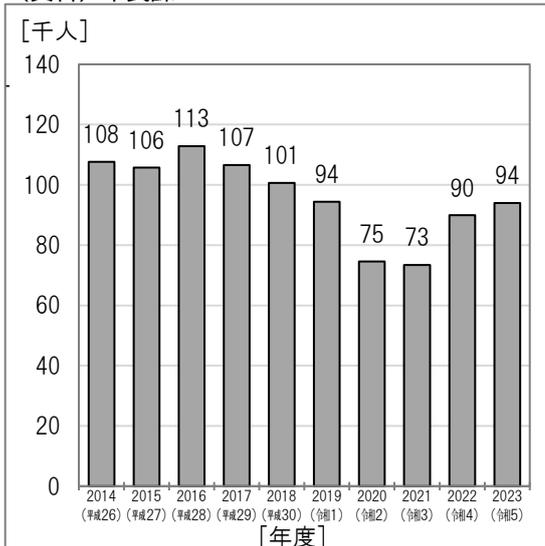
■着工住宅数

(資料) 国土交通省「建築着工統計調査」



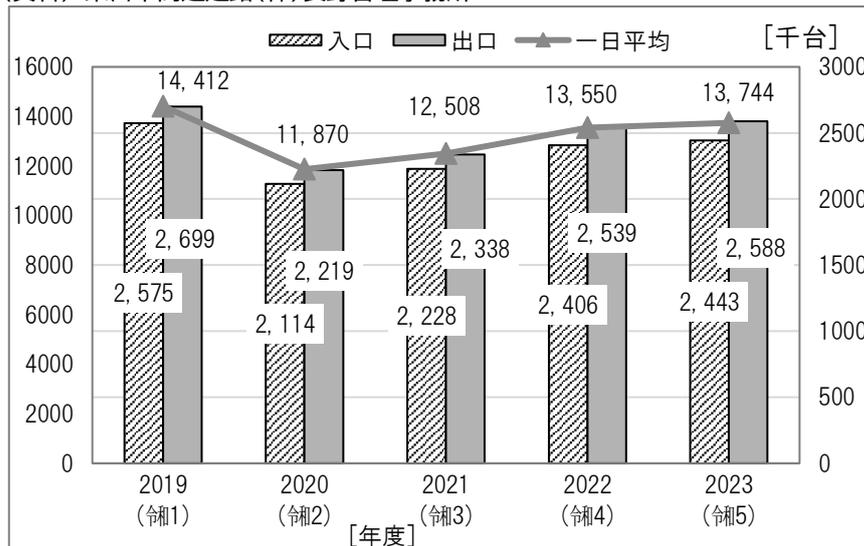
■すざか市民バス利用者数

(資料) 市民課



■上信越自動車道 須坂長野東インター利用状況

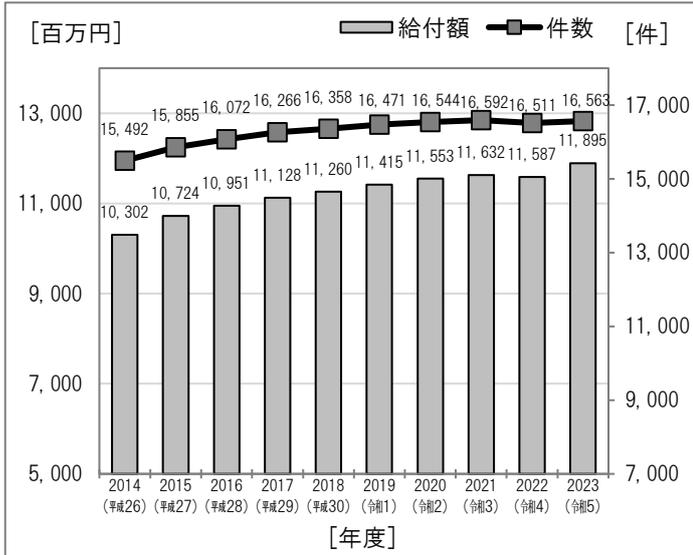
(資料) 東日本高速道路(株)長野管理事務所



10 社会福祉・衛生

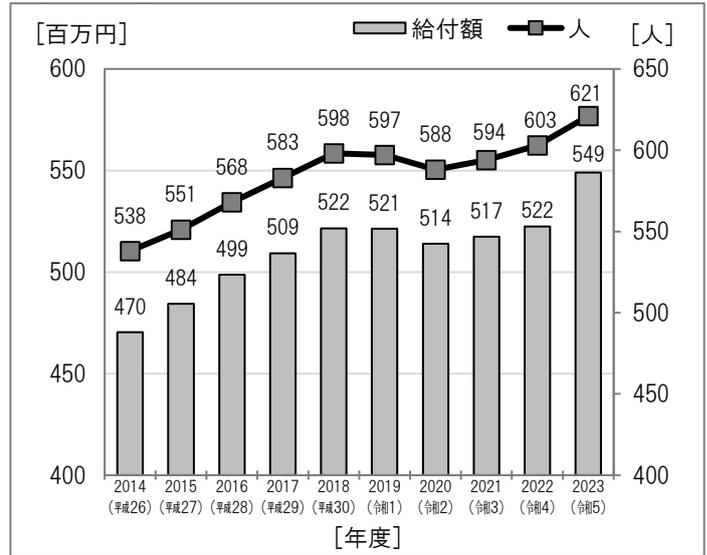
■ 拠出年金給付状況の推移

(資料) 医療保険課



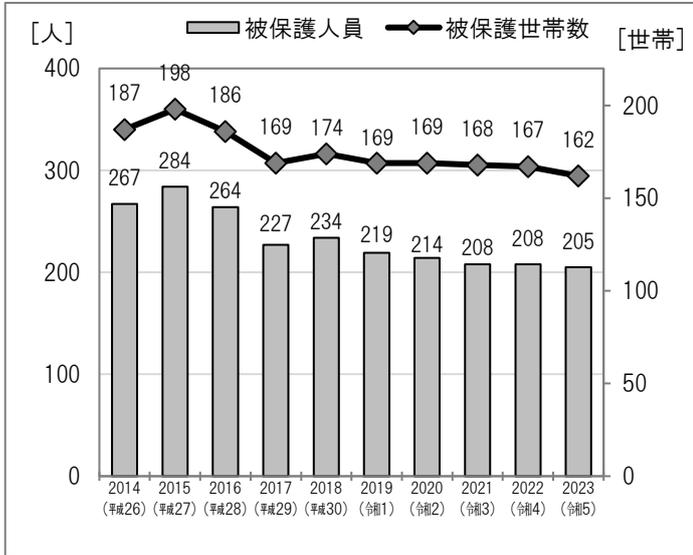
■ 福祉年金給付状況の推移

(資料) 医療保険課



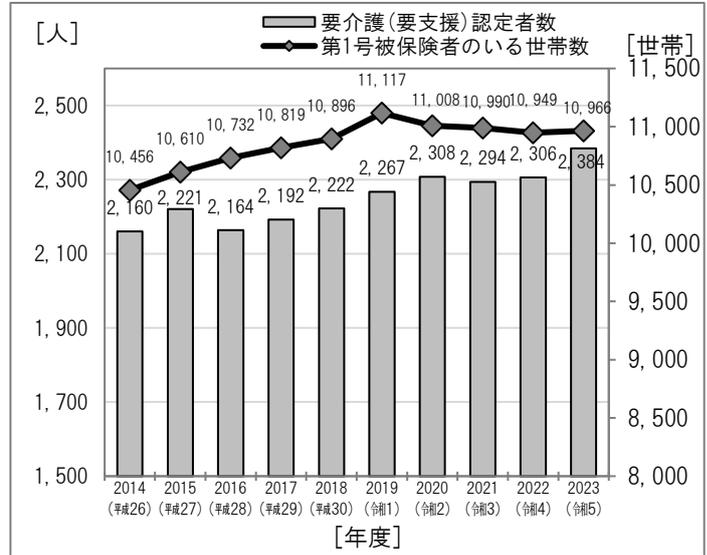
■ 生活保護の状況の推移

(資料) 福祉事務所



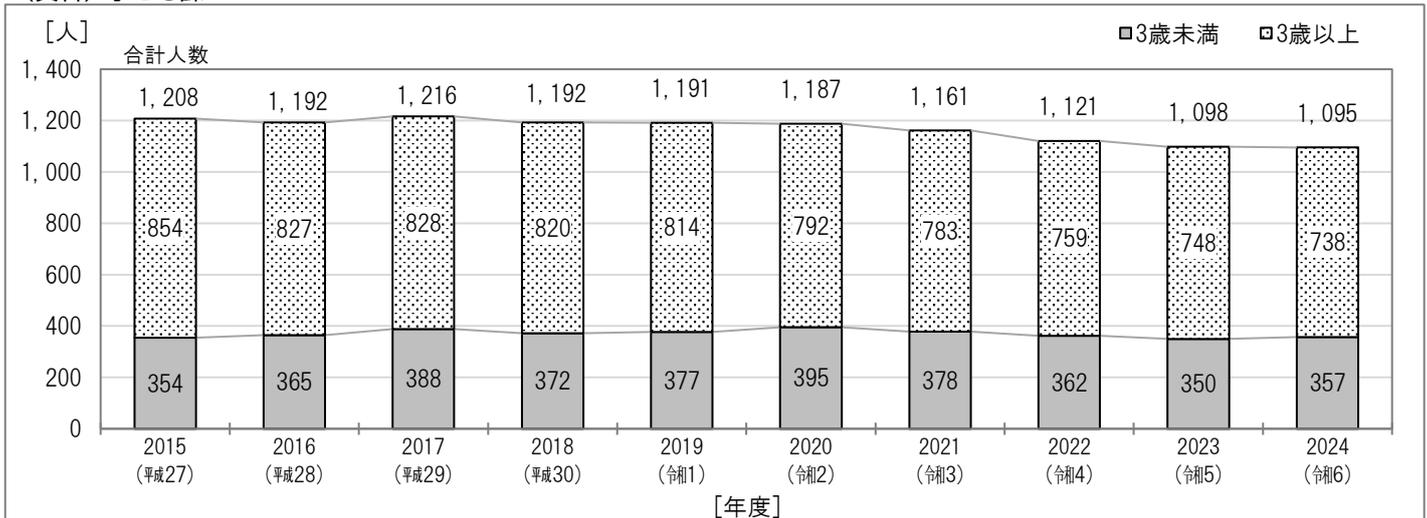
■ 介護保険の要介護及び要支援認定者数の推移

(資料) 高齢者福祉課



■ 保育園児数の推移

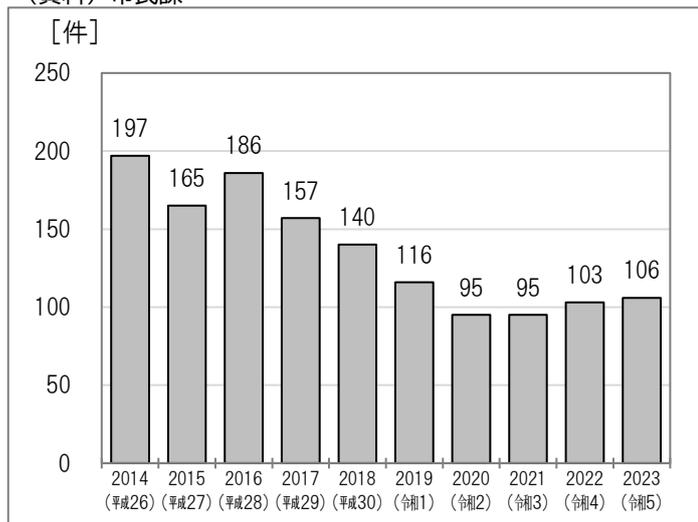
(資料) 子ども課



11 交通事故・災害

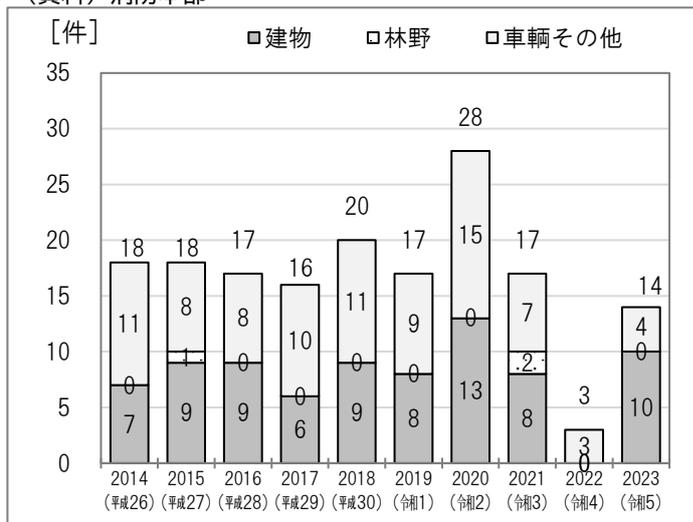
■交通事故件数の推移

(資料) 市民課



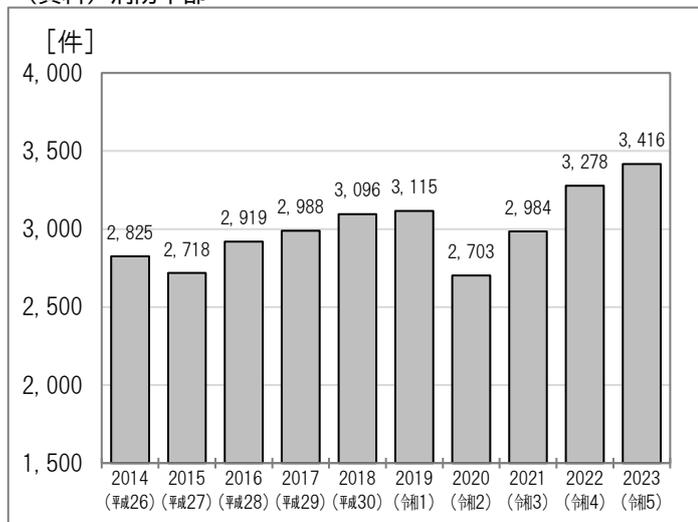
■火災件数の推移

(資料) 消防本部



■救急車出動回数の推移(小布施町, 高山村を含む)

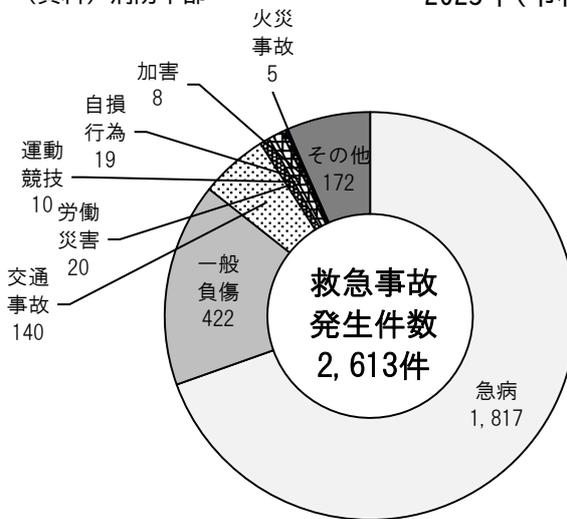
(資料) 消防本部



■救急事故発生状況の内訳(須坂市分)

(資料) 消防本部

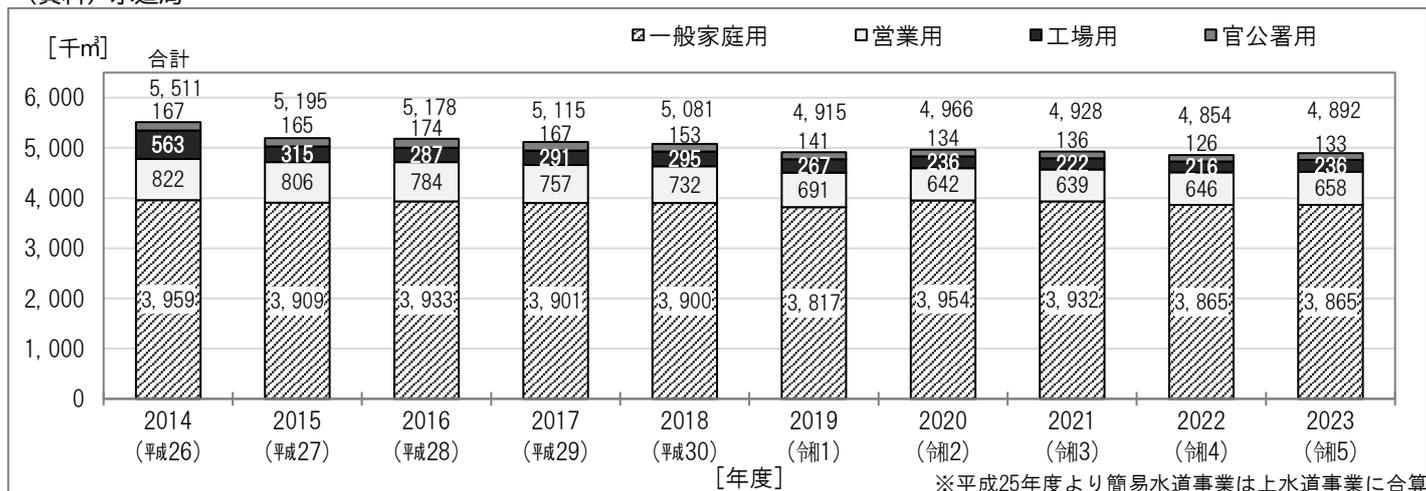
2023年(令和5年中)



12 上下水道・簡易水道

■上下水道使用状況の推移(有取水量)

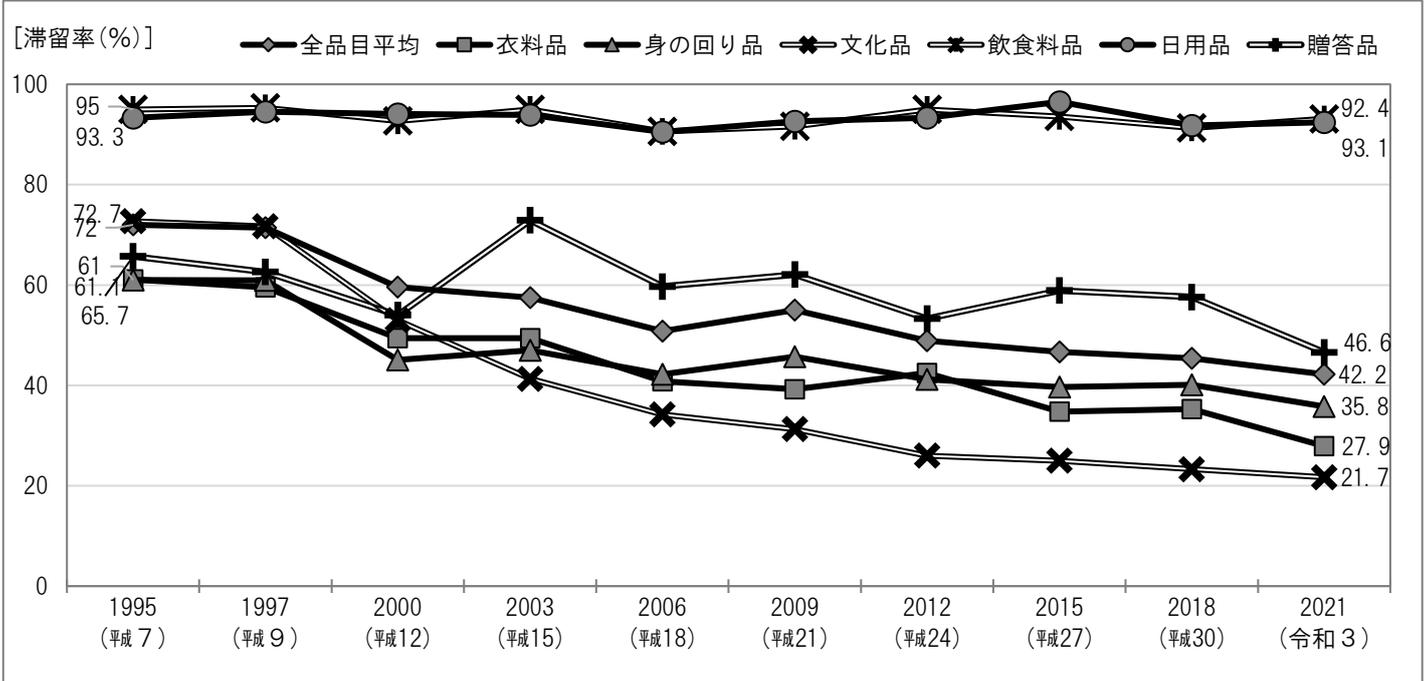
(資料) 水道局



13 消費・生活

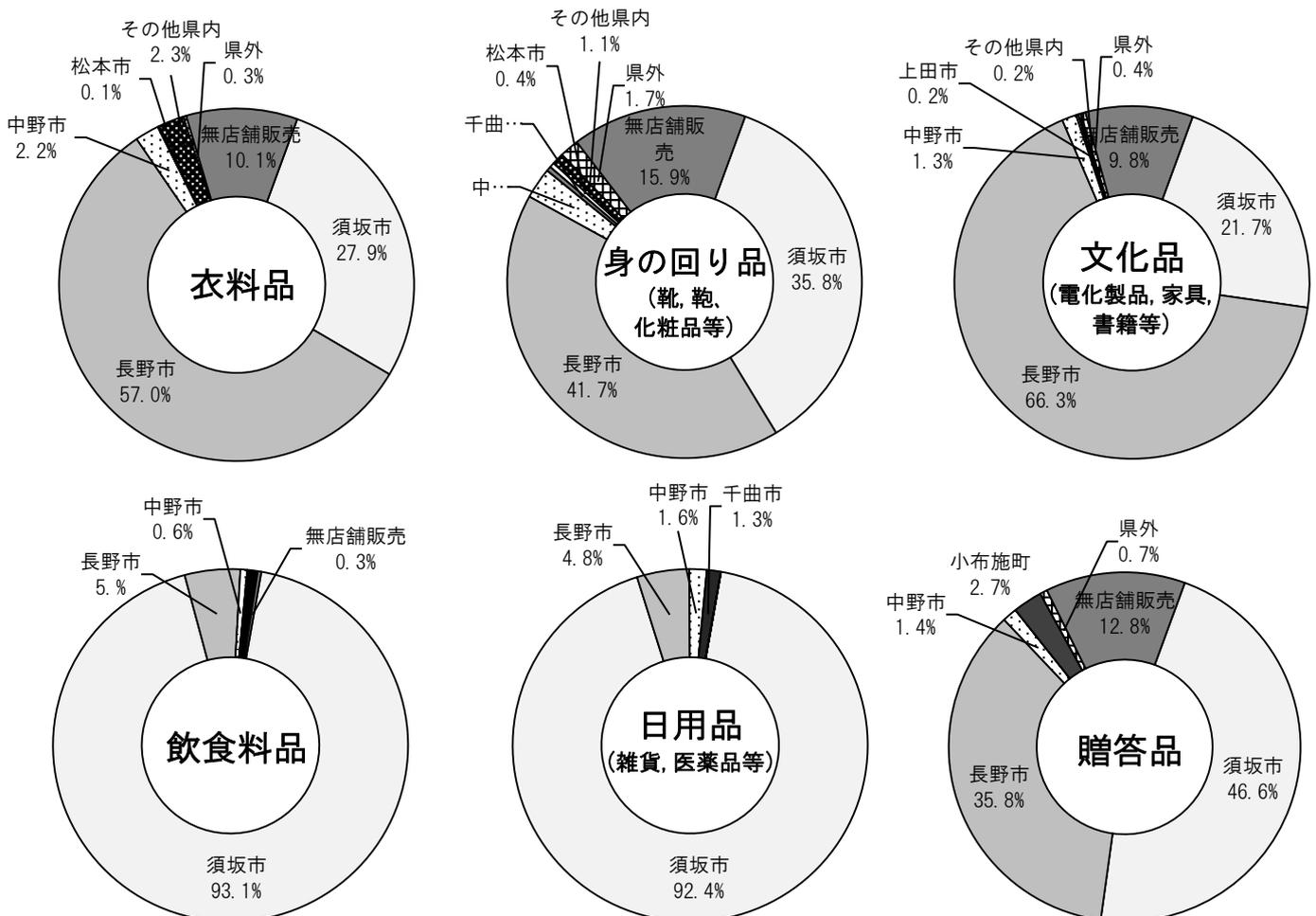
■地元滞留率の推移

(資料) 長野県商圈調査報告書



■買物場所 (令和3年度)

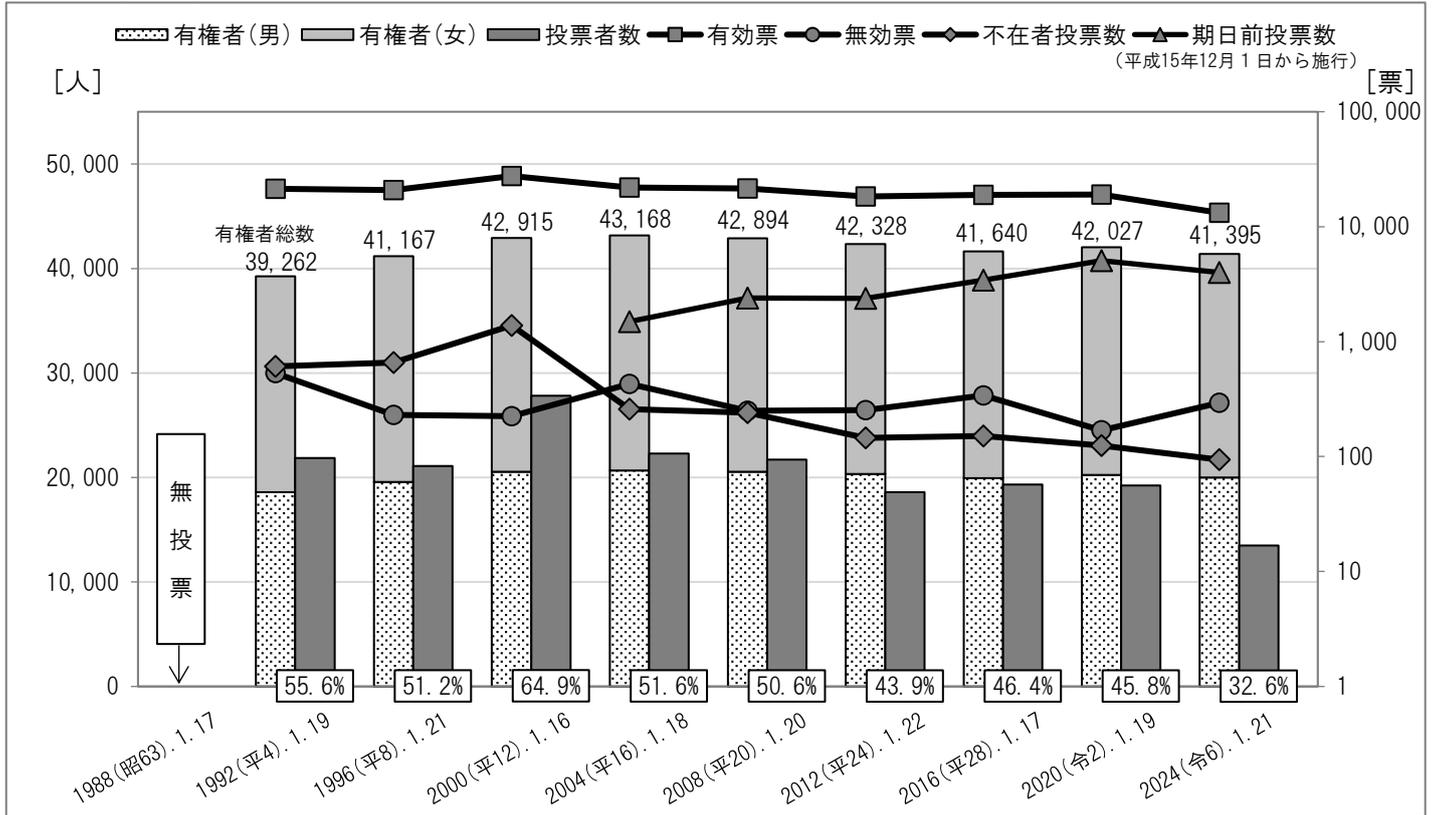
(資料) 長野県商圈調査報告書



14 選挙

■須坂市長選挙の投票状況の推移

(資料) 選挙管理委員会



■須坂市議会議員選挙の状況の推移

(資料) 議会事務局

	執行日	定数 (人)	立候補数 (人)	投票率 (%)
1	昭和30 (1955) . 2. 6	30	40	94.3
2	// 34 (1959) . 2. 8	30	39	94.2
3	// 38 (1963) . 1. 27	30	35	92.43
4	// 42 (1967) . 2. 5	30	34	93.87
5	// 46 (1971) . 2. 7	30	32	93.62
6	// 50 (1975) . 2. 9	30	38	93.67
7	// 54 (1979) . 2. 4	30	32	92.39
8	// 58 (1983) . 2. 6	30	34	91.59
9	// 62 (1987) . 2. 8	28	29	87.08
10	平成 3 (1991) . 2. 3	28	29	84.04
11	// 7 (1995) . 2. 5	28	33	82.39
12	// 11 (1999) . 2. 7	26	28	75.03
13	// 15 (2003) . 2. 2	24	25	62.42
14	// 19 (2007) . 2. 4	20	22	63.28
15	// 23 (2011) . 2. 6	20	22	57.98
16	// 27 (2015) . 2. 1	20	21	49.18
17	// 31 (2019) . 2. 3	20	20	無投票
18	令和 5 (2023) . 2. 5	20	22	40.23

須坂市の指定文化財一覧表

2024.8.15 現在

◆国指定文化財 3件

※所有者は指定当時

番号	名称等	所在地	備考	所有者※	指定年月日
名勝					
1	米子瀑布群	大字米子1422-1 ほか	米子町 (米子山)	米子町 ほか	平成28年10月3日
特別天然記念物					
2	カモシカ (偶蹄目：ウシの仲間)	市内山間地			昭和30年2月15日
重要伝統的建造物群保存地区					
1	須坂市須坂伝統的建造物群保存地区	大字須坂	中町ほか 18.3ha		令和6年8月15日

◆県指定文化財 8件

県宝 (建造物)					
1	旧小田切家住宅 (建造物)	大字須坂423-1	春木町	須坂市	平成30年9月27日
無形民俗文化財					
1	野辺の来迎念仏 (念仏踊り)	大字野辺	野辺町	野辺来迎念仏保存会	平成9年8月14日
2	須坂祇園祭 (祭礼)	大字須坂		芝宮墨坂神社氏子総代会	令和2年9月28日
史跡					
1	八丁鎧塚 (積石塚古墳)	大字八町字鎧塚287, 285	上八町	上八町、須坂市	昭和40年2月25日
2	井上氏城跡 (中世城館跡)	大字井上2474 ほか	井上町 (館跡)	個人	昭和40年2月25日
		大字井上3269 ほか	井上町 (山城)		
天然記念物					
1	ミヤマモンキチョウ (高山蝶)	峰の原高原			昭和50年2月24日
2	ベニヒカゲ (高山蝶)	破風高原・峰の原高原			昭和50年2月24日
3	井上の枕状溶岩 (自然現象)	大字井上3274十九ヶ境	井上町	個人	平成4年2月20日

◆市指定文化財 86件

有形文化財					
1	勝善寺文書 (中世古文書)	大字須坂122	本上町 (勝善寺)	同 左	昭和45年5月25日
2	八丁鎧塚出土品 (考古資料)	臥竜2-4-1	須坂市立博物館	須坂市	昭和45年5月25日
3	人物埴輪 (考古資料)	臥竜2-4-1	須坂市立博物館	霧原大元神社	昭和45年5月25日
16	郷倉 (建造物)	大字仁礼1084-1	仁礼町 (湯河原)	(財)仁礼会	昭和50年4月1日
17	時の鐘の「鐘楼」 (建造物)	大字須坂756	常盤町	須坂市	昭和50年4月1日
20	須坂園芸高校出土の弥生式土器 (考古資料)	臥竜2-4-1	須坂市立博物館	長野県須坂園芸高等学校	昭和55年9月20日
21	木造聖徳太子立像 (彫刻)	大字小山353	南原町 (普願寺)	同 左	昭和59年6月1日
22	木造不動明王立像 (彫刻)	大字米子1057	米子町 (不動寺)	同 左	昭和59年6月1日
23	木造百万塔 (工芸品)	臥竜2-4-1	須坂市立博物館	須坂市	昭和61年10月17日
32	天神一号墳出土品 (考古資料)	臥竜2-4-1	須坂市立博物館	須坂市	平成元年10月1日
33	須坂吉向焼 (工芸品)	大字小山476 ほか	穀町(田中本家博物館)ほか	同 左 ほか	平成元年10月1日 追加名称変更 平成24年3月30日
34	木造秋葉三尺坊大権現神像	大字日滝629	本郷町 (蓮生寺)	同 左	平成元年10月1日
35	蓮生寺絵馬 (美術)	臥竜2-4-1	須坂市立博物館	蓮生寺	平成元年10月1日
36	福島の大幟 (書)	大字福島191	福島町 (福島天神社)	同 左	平成元年10月1日
37	銅製罎口 (金工品)	大字井上2579	井上町 (小坂神社)	同 左	平成元年10月1日
38	臥竜山百番観音 (石造物)	臥竜3丁目 ほか	臥竜山	興国寺	平成元年10月1日
42	普願寺本堂と鐘楼 (建造物)	大字小山353	南原町 (普願寺)	同 左	平成4年1月4日
43	著色天井絵大鷲図 (美術)	大字沼目494-2	沼目町 (沼目薬師堂)	沼目町	平成4年1月4日
44	木造薬師如来座像 (彫刻)	大字沼目494-2	沼目町 (沼目薬師堂)	沼目町	平成4年1月4日
45	ステンドグラス (工芸品)	臥竜2-4-1	須坂市立博物館	須坂市	平成4年1月4日
46	庚申塔 (石造物)	大字福島175	福島町 (西福寺)	同 左	平成4年1月4日
47	滝山不動寺奥の院 (建造物)	大字米子1421	米子町 (奥の院)	滝山不動寺	平成4年1月4日
50	旧園里学校 (建造物)	大字豊丘1076	豊丘上町 (新田)	須坂市	平成5年4月1日
52	丸山家文書 (近世古文書)	臥竜2-4-1	須坂市立博物館	須坂市	平成6年1月4日
53	円光寺太鼓堂 (建造物)	大字小山360	南原町 (円光寺)	同 左	平成6年9月1日
58	元牧新七家 (建造物)	大字須坂371-6	東横町 (クラシック美術館)	須坂市	平成7年1月4日
59	絹本着色釈迦三尊像 (絵画)	大字井上2618	井上町 (浄運寺)	同 左	平成8年1月4日
60	本郷大塚古墳出土品 (考古資料)	臥竜2-4-1	須坂市立博物館	(一社)日滝史蹟保存会	平成8年1月4日
62	奇妙山石仏群と千体仏	大字米子86・チ ほか	米子町 (石仏群)	長野営林署、万竜寺	平成9年5月1日
		大字亀倉424	亀倉町 (千体仏)		
64	大日如来道標 (石造物)	大字豊丘3279-3	豊丘上町	豊丘水利組合	平成12年4月1日
67	太子堂と聖徳太子絵伝 (建造物・絵)	大字須坂900-2	太子町	須坂市、太子町	平成19年12月6日
72	浄運寺本堂 (建造物)	大字井上2618	井上町	浄運寺	平成22年3月9日
73	東照寺本堂の欄間	大字米子463	米子町	東照寺	平成22年3月9日
74	姦譜	臥竜2-4-1	須坂市立博物館	同左	平成23年3月31日
82	出山釈迦如来立像 (彫刻)	大字井上2618	井上町	浄運寺	平成24年2月29日
83	浄運寺の六角堂 (建造物)	大字井上2618	井上町	浄運寺	平成24年2月29日
84	旧牧家 (建造物)	大字野辺1386-8	須坂市歴史的建物園	須坂市	平成24年2月29日
85	元板倉家 (建造物)	大字野辺1386-8	須坂市歴史的建物園	須坂市	平成24年2月29日
86	長屋門 (建造物)	大字野辺1386-8	須坂市歴史的建物園	須坂市	平成24年2月29日
87	武家長屋 (建造物)	大字野辺1386-8	須坂市歴史的建物園	須坂市	平成24年2月29日
88	鏝絵「牛乃乳」	大字須坂812-2	常盤町 須坂市旧上高井郡役所	須坂市	平成24年2月29日
89	中澤吉四郎家文書 (近代文書)	大字須坂812-2	常盤町 須坂市旧上高井郡役所	須坂市	平成24年2月29日
94	上杉景勝書状 (近世古文書)	臥竜2-4-1	須坂市立博物館	須坂市	平成27年11月25日
95	旧上高井郡役所 (建造物)	大字須坂812-2	常盤町	須坂市	令和2年3月6日

番号	名称等	所在地	備考	所有者※	指定年月日
有形民俗文化財					
51	笠鉾・屋台 (祭事用具)	大字須坂410-1	横町(笠鉾会館)	穀町 ほか12町	平成5年1月4日
無形民俗文化財					
18	獅子狂言「梅川」 (獅子舞)	大字村山	村山町	村山神楽保存会	昭和50年4月1日
39	高梨の牛獅子 (獅子舞)	大字高梨	高梨町	高梨太々神楽保存会	平成元年10月1日
48	上八町の赤熊	大字八町	上八町	上八町郷土芸能保存会	平成4年1月4日
66	下八町太々神楽 (獅子舞)	大字八町	下八町	下八町太々神楽保存会	平成19年3月13日
史跡					
4	井上氏史跡 (中世遺跡)	大字井上2916-1 大字井上3135-1 ほか	井上町(井上氏墳墓)※ 隣上町ほか(竹ノ城跡)	井上町 ほか	昭和45年5月25日
5	福島宿道標 (街道遺跡)	大字福島22-2	福島町	同左	昭和45年5月25日
6	須田古城跡 (中世山城)	臥竜3丁目 ほか	臥竜山	興国寺 ほか	昭和45年5月25日
7	吉向焼窯跡 (近世古窯跡)	大字坂田683-2 ほか	坂田町(大和合)	個人	昭和45年5月25日
8	東行社跡 (近代産業遺跡)	大字須坂785-1 ほか	穀町	北水社	昭和45年5月25日
9	俊明社跡 (近代産業遺跡)	大字須坂1101-2 ほか	馬場町	須坂市 ほか	昭和45年5月25日
12	大岩城跡 (中世山城)	大字日滝5153 ほか	本郷町(天狗岩)	個人	昭和47年3月1日
13	石小屋洞穴 (洞穴遺跡)	大字仁礼3164-7	仁礼町(仁礼山)	井上町 ほか3町	昭和47年3月1日
24	天神1号墳 (古墳)	大字米持775-1 ほか	米持町(天神)	須坂市	昭和61年10月17日
61	本郷大塚古墳 (古墳)	大字日滝751	本郷町	(一社)日滝史蹟保存会	平成8年1月4日
63	奇妙山遺跡 (信仰遺跡)	大字米子 国有林86 ほか	米子町(米子山)	長野営林署	平成9年5月1日
65	旧大笹街道峠道 (街道遺跡)	大字仁礼仁礼山・峰の原		(財)仁礼会	平成12年4月1日
92	須坂基線西端点(一等三角点)	大字小河原2269-1	小河原町(別府山道南沖)	国土交通省国土地理院	平成25年3月21日
名勝					
10	臥竜山 (丘陵)	臥竜3丁目 ほか	臥竜山	興国寺 ほか	昭和45年5月25日
天然記念物					
15	延命地藏堂の桜 (樹木)	大字豊丘1078-2	豊丘上町(新田)	須坂市	昭和47年3月1日
19	ミヤマツチトリモチ (植物)	大字豊丘字乳山			昭和50年4月1日
25	熊野神社のエノキ (樹木)	大字塩川536	塩川町(熊野神社)	塩川町	昭和61年10月17日
28	仙仁山のハルニレ (樹木)	大字仁礼	仁礼町(山ノ神)	(財)仁礼会	昭和61年10月17日
29	万竜寺のクマスギ (樹木)	大字亀倉424	亀倉町(万竜寺)	同左	昭和61年10月17日
30	墨坂神社社叢 (樹林)	墨坂1-8-1 ほか	墨坂神社	同左	昭和61年10月17日
31	小坂神社社叢 (樹林)	大字井上2578 ほか	井上町(小坂神社)	同左	昭和61年10月17日
40	臥竜山根あがりねじれ松 (樹木)	臥竜3丁目 ほか	臥竜山	興国寺	平成元年10月1日
49	臥龍梅 (樹木)	臥竜3-3-1	興国寺	同左	平成4年1月4日
54	大広院のカヤノキ (樹木)	大字八町2258	下八町(大広院)	同左	平成6年9月1日
57	広正寺のエドヒガン (樹木)	大字野辺669	野辺町(広正寺)	同左	平成6年9月1日
69	大日向観音堂しだれ桜 (樹木)	大字豊丘上台230	大日向町	同左	平成19年12月6日
70	長妙寺の桜 (樹木)	大字豊丘字内山2787	豊丘町	長妙寺	平成21年3月12日
71	弁天さんのしだれ桜 (樹木)	大字豊丘中灰野梅ノ木地区	豊丘上町(梅ノ木)	豊丘上町	平成21年3月12日
75	東照寺の桜 (樹木)	大字米子464	米子町(東照寺)	同左	平成23年3月31日
76	萬龍寺の桜 (樹木)	大字亀倉424	亀倉町(萬龍寺)	同左	平成23年3月31日
77	金毘羅山の桜 (樹木)	大字亀倉427-イ、886-ロ	亀倉町	同左	平成23年3月31日
78	亀倉神社の桜 (樹木)	大字亀倉字本郷412	亀倉町(亀倉神社)	亀倉神社(亀倉町)	平成23年3月31日
79	高頭寺の桜 (樹木)	大字仁礼字大狭873-ハ 876-イ	仁礼町(高頭寺)	同左	平成23年3月31日
80	大広院の桜 (樹木)	大字八町2260-2	下八町(大広院)	同左	平成23年3月31日
81	洞入観音堂のイチヨウ (樹木)	大字豊丘字洞入2638-1	豊丘町(洞入観音堂)	同左	平成23年3月31日
90	豊丘の穴水 (自然現象)	大字豊丘3321-22		須坂市豊丘財産区	平成24年2月29日
91	西五味池のモミの木 (樹木)	大字豊丘3321-1		須坂市豊丘財産区	平成24年2月29日

◆登録有形文化財 7件(46棟)

旧越家住宅	大字須坂435-2 ほか	春木町 (3棟)	須坂市	平成15年9月19日
ふれあい館しらふじ(旧丸田医院)	大字須坂32-1	本上町 (7棟)	須坂市	平成15年9月19日
ふれあい館まゆぐら(旧田尻製糸)	大字須坂387-2	東横町	須坂市	平成15年9月19日
田中本家博物館	大字小山476 ほか	穀町 (20棟)	(財)田中本家博物館	平成15年9月19日
塩屋醸造	大字須坂537	新町 (10棟)	個人	平成19年5月15日
須高農業協同組合井上支所	大字井上幸高4 4 7 - 2	幸高町	須高農業協同組合	平成27年11月17日
中野家住宅	大字須坂4 2 0	中町 (4棟)	個人	平成28年2月25日

名 誉 市 民

故 田 中 邦 治 氏（昭和35年1月8日推挙）

田中氏は、70有余年の生涯を地方自治の伸展と住民の福祉向上のために捧げられました。

即ち、大正2年須坂町議会議員に当選以来、町議6期、郡会議員2期、県議4期、町長当選6回、在職13年7ヶ月、衆議院議員2期、県教育委員1期等の公職を歴任された後、昭和33年市長に当選されるや、工業立市への基盤造成に鋭意力をそそがれ、市勢の一大躍進を図るために尽すいされました。

昭和15年4月 勲四等に叙せられ瑞宝章を賜う。

33年11月 藍綬褒章を賜う。

35年2月 正五位旭日小綬章を賜う。

故 神 林 新 治 氏（筆名：栗生純夫、昭和36年1月21日推挙）

神林氏は、俳文学と一茶研究に全生涯をうちこまれました。とくに一茶の研究では「一茶八番日記」「まん六の春」「寛政三年帰郷日記」等を新たに世に紹介されたことは、後世に伝わる貴重な文献であり、わが国俳文学史上に特筆されるものです。また山帰来、山路笛、科野路、大陸風詠等の句集を数多く刊行されるとともに、自ら句誌「科野」を発行し、私財をなげうって俳文学の普及と探求に努められました。

昭和34年6月 社会教育功労者として県教育委員会から表彰される。

35年5月 文化功労者として県知事から表彰される。

故 上 原 吉之助 氏（昭和39年12月11日推挙）

上原氏は地方自治の伸展に多くの功績があらわれました。

即ち、昭和4年4月に須坂町議会議員に当選以来5期18年在職、この間正副議長の要職を歴任。

さらに昭和22年4月から同33年3月まで11年間、戦後の町政発展に尽されるとともに初代市長として、新市の基盤育成のため日夜献身的な努力を傾注されました。

また、大正14年に山林2ヘクタール余を、昭和43年には教育振興の費として数百万円を市へ寄付されるなど公私にわたって今日の市発展の基盤確立に尽されました。

昭和41年4月 勲五等に叙せられ瑞宝章を賜う。

42年6月 紺綬褒章を賜う。

44年6月 紺綬褒章を賜う。

46年3月 従六位を賜う。

故 松 沢 令之助 氏（平成元年9月26日推挙）

松沢氏は、地方自治の伸展に多くの功績があらわれました。

即ち、昭和31年須坂市教育委員に就任以来7年在職、この間委員長、同代理を歴任、さらに、昭和38年2月須坂市議会議員に当選、1期4年在職、この間正副議長を歴任、さらにまた、昭和43年1月須坂市長に当選以来2期8年にわたり市民の立場に立ち福祉行政、教育行政を基調とした市政の進展に邁進され、市民の福祉向上、教育の振興に献身的な努力を傾注されました。

特に全国に先がけた医療費特別給付制度の創立、老人センターの新設等市民の福祉向上に貢献されるとともに、県民運動場の完成、旭ヶ丘小学校の新設等教育の振興に尽力されました。

また、懸案であった東村との合併を昭和46年4月に実現し、今日の市発展の基盤確立に尽されました。

昭和51年11月 勲五等双光旭日章を賜う。

52年10月 紺綬褒章を賜う。

平成元年9月 正六位を賜う。

故 山 際 順 氏（平成6年1月7日推挙）

市長時代を中心に地方自治の発展に尽されました。昭和33年須坂市助役に就任。昭和35年須坂市長に初当選以来、通算4期16年在職。この間、県市長会長、全国市長会理事の要職を歴任。須坂市の発展と地方自治の伸展に寄与されました。特に須坂市が国道のない市であったことからその解消に全力を注ぎ、昭和57年、白馬村から須坂市を經由して真田町（現上田市）に至る主要地方道の国道406号への昇格を実現。また、産業の振興、教育・文化・福祉の向上に努め、調和のとれた都市建設に邁進されました。

昭和54年6月 全国市長会長自治功労表彰。

55年5月 地方自治功労により春季園遊会に招待される。

59年11月 勲四等瑞宝章を賜う。

遠 藤 守 信 氏（平成18年1月6日推挙時点）

信州大学工学部教授である遠藤氏は、学術及び産業等の進展に特に功績があらわれます。

新炭素体やリチウムイオン電池など先端新素材の電子物性とその応用の研究活動を通じて、「炭素ナノチューブ」が炭素繊維の中心部に存在していることを世界で初めて発見。さらに独自の「化学的気相成長法（CVD法）」を考案し、「炭素ナノチューブ」研究の第一人者として実績をあげ、炭素の科学と技術の両分野で世界的評価を確立しました。

また、産学官連携活動の推進と科学技術の振興に取り組み、大きな成果をあげられています。

平成13年7月 アメリカ炭素学会・チャールズ・E・ペティーノス賞受賞

16年7月 科学技術功績メダル（カーボンメダル）授与

16年11月 須坂市表彰（学術功労）

17年6月 文部科学大臣賞（科学技術創造立国実現に向けた功績）

安 全 都 市 宣 言

昭和37年3月28日
宣 言

産業経済の成長、文化の進展は近年めざましいものがある反面、交通事故、労働災害、火災その他の災害はますます増加の傾向にあり、わが須坂市も工業都市として年々飛躍的發展を続けるためには各種災害もまたその例にもれず逐年増嵩を示しておることは、市民の強い関心を集め深く憂慮されておるところである。これらの災害防止については、市内の各分野において積極的な対策を実施されてきているところであるが、この際われわれはさらに高い理念と強い意志をもって人命尊重と各種災害防止のために市民運動を推進し、市民の安全意識の高揚をはからなければならないことを痛感するものである。

よってわれわれは市内外の安全関係組織をあげて総合的な連けいのもとに須坂市安全都市推進協議会を結成し、各般の安全を確保し明るく住みよい、須坂市の建設を目指してここに「安全都市」とすることを宣言する。

非 核 平 和 都 市 宣 言

昭和60年6月21日
宣 言

世界で唯一の核被爆国であるわが国にとって、核兵器の廃絶と恒久平和の実現は、全国民共通の願いであり、最も崇高な責務である。

しかるに核軍備の拡張は依然として強まり、世界の平和と人類の生存に深刻な脅威をもたらしている。

須坂市は、日本国憲法に掲げられた平和主義の理念を市民生活の中に生かすことが地方自治の基本理念の一つであることにかんがみ、非核三原則が完全に実施されることを願い、あらゆる国のあらゆる核兵器の廃絶を全世界に向けて訴えるものである。

核戦争に勝利者はなく、人類の滅亡のみであることを銘記するとともに、美しい自然と輝かしい伝統を子々孫々に継承すべく、須坂市が「非核平和都市」であることをここに宣言する。

健 康 づ くり 推 進 都 市 宣 言

昭和62年9月25日
宣 言

健康は、人々にとってかけがえのない宝であり、幸せな家庭、活力みなぎる須坂市をつくるための基本をなすもので、市民一人ひとりの願いである。

健康とは、単に病気でないというばかりでなく、肉体的、精神的、社会的によい状態にあるといわれている中で、高齢化社会を迎えた今日、社会構造や疾病構造の変化に対応した健康づくりは、一層重要な課題である。

よって、須坂市民が健康で明るい社会をめざして“自分の健康は自分でつくる”自覚と認識のもとに進めてきた健康づくりを更に積極的に推進するため、須坂市が「健康づくり推進都市」であることをここに宣言する。

須坂市部落解放・人権尊重都市宣言

平成6年3月22日
宣 言

基本的人権が尊重され、自由で平等な社会の実現は、すべての人々の強い願いである。

しかしながら現実の社会生活においては、今なお、部落差別をはじめさまざまな差別が存在している。人権が侵害されることは、いかなる理由があっても許されることではない。

よって、市民一人ひとりが自らの人権意識を高め、すべての人々の人権を守り、差別のない明るく住みよい社会を築くため、ここに須坂市を「部落解放・人権尊重都市」とすることを宣言する。

青色申告・振替納税推進都市宣言

平成7年12月1日
宣 言

健康で明るく活力ある地域社会を創造することは、市民の願いである。

この基盤をなすものは、健全な財政の確立であり、とりわけ正しい申告と期限内納税の履行による安定した税収の確保が根幹である。

青色申告・振替納税は、これらを実現する最も有効な手段であり、これらの普及拡大は安定した財源の確保に大きく寄与するものと確信する。

納税意識の高揚並びに税負担の公平及び適正化を図り、正しい申告と期限内納税を推進するため、ここに須坂市を「青色申告・振替納税推進都市」とすることを宣言する。

未来を担う児童・青少年育成都市宣言

平成12年12月14日
宣 言

明日の須坂市を担う児童・青少年が心身ともに健やかに、たくましく、美しく成長することは市民すべての願いである。

この願いを実現し、児童・青少年の輝かしい未来をひらくために、すべての大人が児童・青少年の先達としてその姿勢を正し、なによりも児童・青少年の生命と人権を擁護し尊重するとともに、児童・青少年の問題について一層の関心を高め、家庭・学校・地域が一体となり、市民の心と英知をあつめ、総力をあげて未来を担う児童・青少年の育成に努めなければならない。

よって、21世紀の新しい時代、決意も新たに須坂市を「未来を担う児童・青少年育成都市」とすることを宣言する。

市の木・市の花

(昭和49年11月1日制定)



市の木：クマスギ



市の花：レンゲツツジ

姉妹都市

- ・神奈川県三浦市 昭和49年4月23日提携
 - ・新潟県紫雲寺町 昭和60年6月16日提携
- (合併により平成17年5月1日から新発田市)

友好都市

- ・中華人民共和国吉林省四平市 平成6年5月12日提携

2025年(令和7年)4月

発行・編集 須坂市議会事務局

〒382-8511

長野県須坂市大字須坂1528-1

TEL (026)248-9014 (直通)

FAX (026)248-3365

電子メール s-gikaijimukyoku@city.suzaka.nagano.jp

須坂市ホームページ(須坂市議会)

<https://www.city.suzaka.nagano.jp/shigikai/index.html>

▼須坂市HP(須坂市議会)

